

新潟県小千谷市認知症実態調査結果 (第二報)

平成24年2月

新 潟 県 小 千 谷 市

新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

目 次

【目的】	1
【実施主体】	1
【対象】	1
【方法】	1
【統計処理】	1
【結果】	2
1 基本属性	2
1-1 性	2
1-2 年齢	2
1-3 住所	3
1-4 婚姻状況	3
1-5 教育年数	4
1-6 家族構成	5
1-7 生まれ育った所	6
1-8 兄弟姉妹がいるか	7
1-9 母親が何歳の時の子どもか	9
1-10 経済状況	9
2 健康状況	11
2-1 既往歴	11
2-2 現病歴	12
2-3 家族歴	13
2-4 運動器の機能	13
2-5 認知機能(HDS-R 点数)	16
2-6 うつ状態	16
3 生活状況	17
3-1 1日の過ごし方(ここ1週間の暮らし方)	17
3-2 食生活	20
3-3 嗜好品	24
3-4 口腔機能	27
3-5 睡眠	29
3-6 心配な事、困っている事	32
3-7 職業	32
3-8 過去3年間のイベント	35
3-9 過去3年間の特異な体験	36
3-10 性格	37

4 中越地震	38
4-1 中越地震の体験	38
4-2 家屋被害	38
4-3 家屋改修状況	39
4-4 現在の住まい	39
4-5 家族構成の変化	40
5 クロス集計:各要因と認知症傾向(HDS-R \leq 25点)との関連を見る	41
5-1 基本属性	41
5-2 健康状況	42
5-3 生活状況	48
5-4 中越地震	59
【結果】	60
【まとめ】	60
【参考資料】	
資料1 平成町の高齢化等の現状	
資料2 介護予防健康調査票	
資料3 改訂 長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)	
資料4 大うつ病エピソード	

小千谷市認知症実態把握調査報告書

【目的】

中越地震による生活環境の激変やストレスは、認知症高齢者の増加に拍車をかけていると予想される。平成22年度に実施した認知症患者と介護者の実態調査により、具体化した課題の1つが認知症の予防であった。

本調査は、認知症の早期発見、予防対策の充実を目的に、モデル地区を設定し試行調査として実施した。具体的な目的を以下に示す。(1)軽度認知機能障害を早期発見し、リハビリテーションの実施により認知症発症を遅らせる。(2)中越地震との関連性を探る。(3)健康や生活史との関連を探り保健予防活動につなげる。

本報告書では、地域高齢者の健康や生活の実態と認知症のリスク要因について報告する。

【実施主体】

小千谷市および新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

【対象】

小千谷市平成町(モデル地区)の65歳以上で要支援、要介護認定を受けていない者166人、対象選定基準日は平成23年9月15日とした。166人中、150人(90.4%)からの回答を得た。平成町の現状を資料1に示す。

【方法】

家庭訪問により面接調査を実施した。調査票は資料2のとおりである。調査内容は、基本属性、健康状況、生活状況、中越地震の被災状況等とした。認知機能については改定長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を用いて評価した(資料3)。うつ状態の評価には大うつ病エピソードの評価方法によった(資料4)。訪問調査は平成23年10月～12月に実施した。

【統計処理】

nは、回答者数(人数)を示し、%はその百分率である比算出の基礎となっている。複数回答の質問では百分率の合計は100%にならないため、合計値は表示していない。クロス集計では、各要因と認知症傾向(HDS-R得点25点以下と定義)の有無を表で示した。各要因のグループ間における認知症傾向(HDS-R得点25点以下と定義)の有所見率の比率の差の検定では、ロジスティック回帰分析によりP値および年齢調整P値を示し、P値が0.05未満の場合に統計的な有意差ありとした。また、P値が0.05-0.1の場合には有意ではないが差の傾向ありとした。P値が0.1以上の場合は差があるとは言えないと判断した。

【結果】

1 基本属性等

1-1 性

図 1-1 性別人数割合

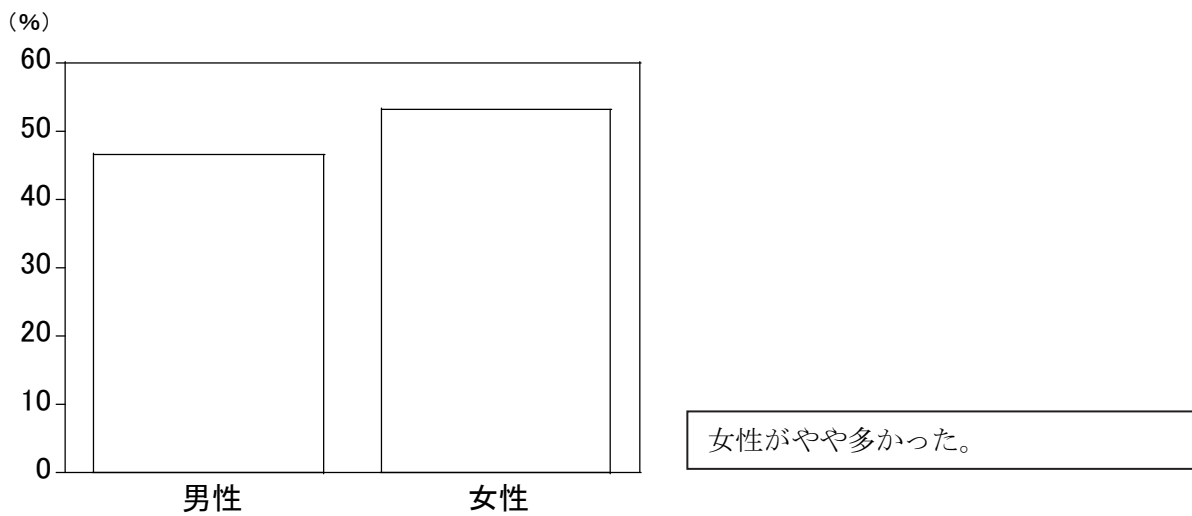


表 1-1 性別人数

性別	n	%
男性	70	46.7
女性	80	53.3
合計	150	100.0

1-2 年齢

図 1-2 年齢分布

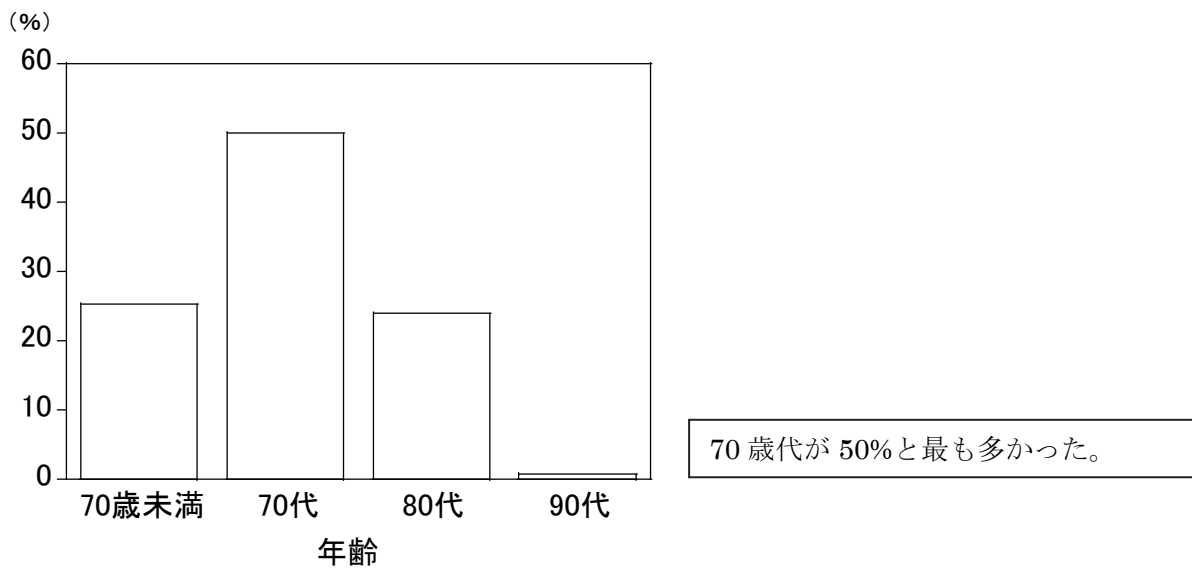


表 1-2 年齢分布

年齢群	n	%
70歳未満	38	25.3
70代	75	50.0
80代	36	24.0
90代	1	0.7
合計	150	100.0

○平均年齢は74.8歳

1-3 住所

小千谷市平成町の65歳以上で要支援、要介護認定を受けていない者150人から回答を得た。

1-4 婚姻状況

図 1-4 婚姻状況の分布

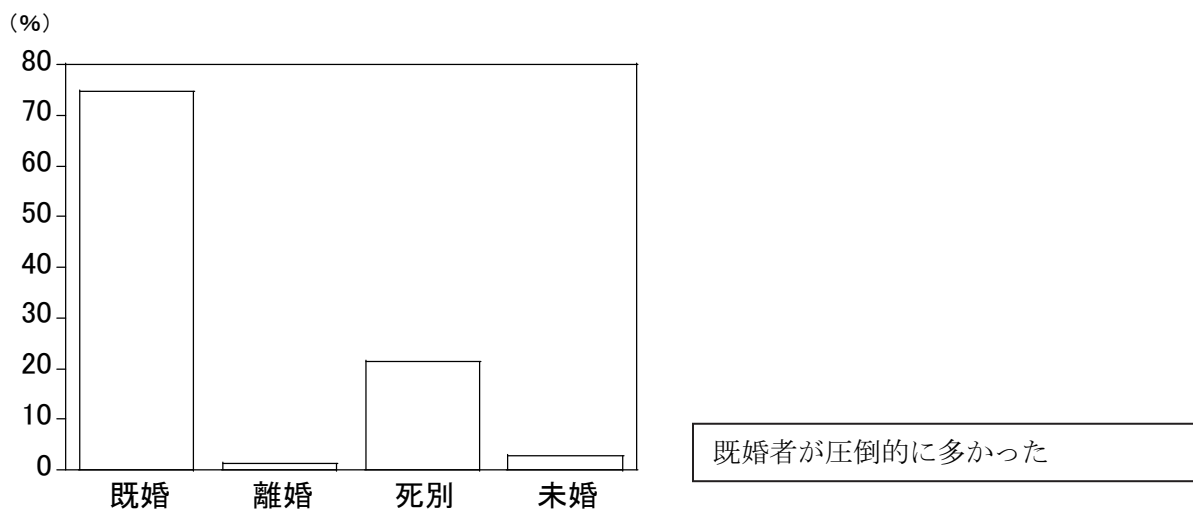
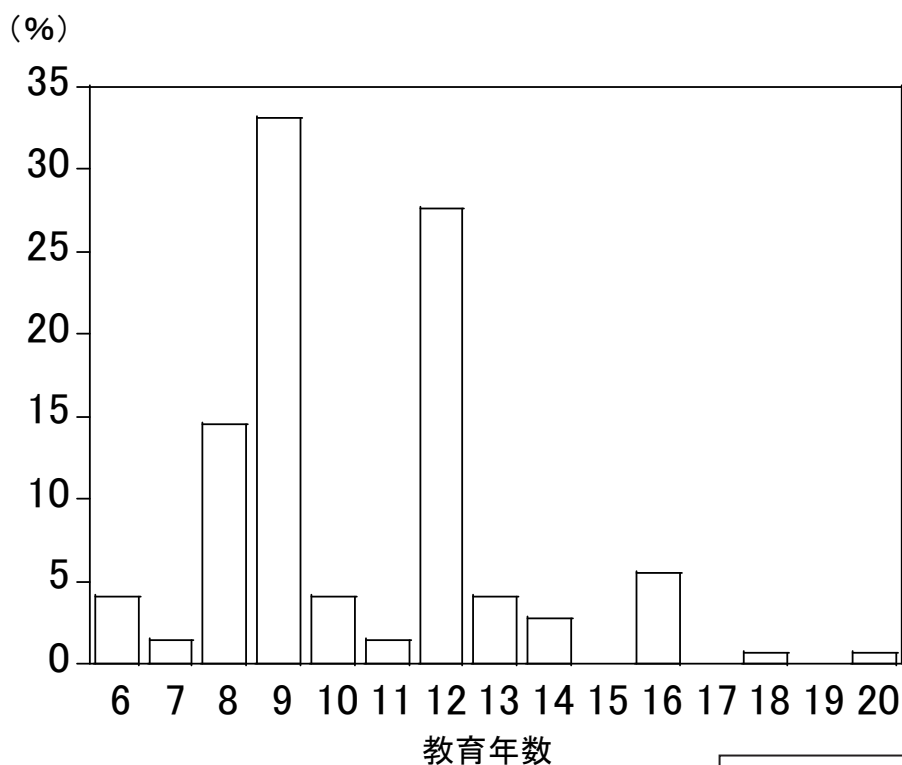


表 1-4 婚姻状況別人数

婚姻状況	n	%
既婚	112	74.7
離婚	2	1.3
死別	32	21.3
未婚	4	2.7
合計	150	100.0

1-5 教育年数

図 1-5 教育年数の分布



中学卒業と高校卒業が多かった。

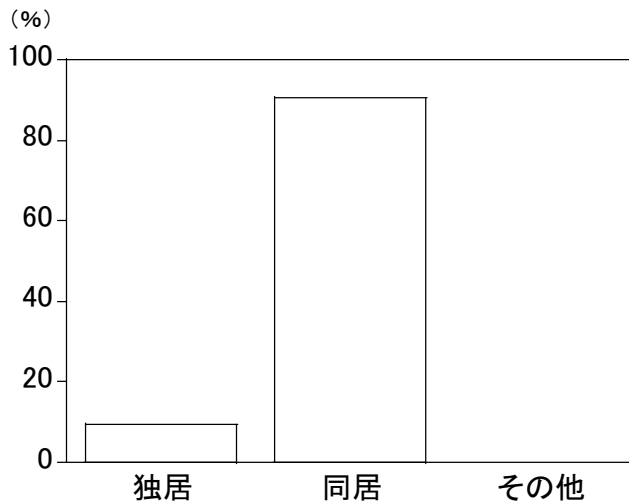
表 1-5 教育年数別人数

教育年数	n	%
6	6	4.1
7	2	1.4
8	21	14.5
9	48	33.1
10	6	4.1
11	2	1.4
12	40	27.6
13	6	4.1
14	4	2.8
15	0	0.0
16	8	5.5
17	0	0.0
18	1	0.7
19	0	0.0
20	1	0.7
合計	145	100.0

欠損値 5

1-6 家族構成

図 1-6-1 家族構成

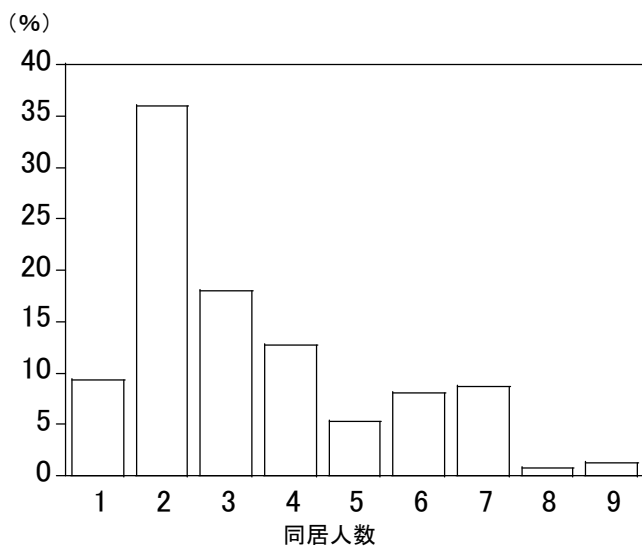


同居者が約 90%と多かった。

表 1-6-1 家族構成(人数)

家族構成	n	%
独居	14	9.3
同居	136	90.7
その他	0	0.0
合計	150	100.0

図 1-6-2 同居人数の分布



同居人数は 2 人が最も多かった。

表 1-6-2 同居人数の分布

同居人数	n	%
1	14	9.3
2	54	36.0
3	27	18.0
4	19	12.7
5	8	5.3
6	12	8.0
7	13	8.7
8	1	0.7
9	2	1.3
合計	150	100.0

図 1-6-3 同居と回答した人の同居者の内訳(複数回答)

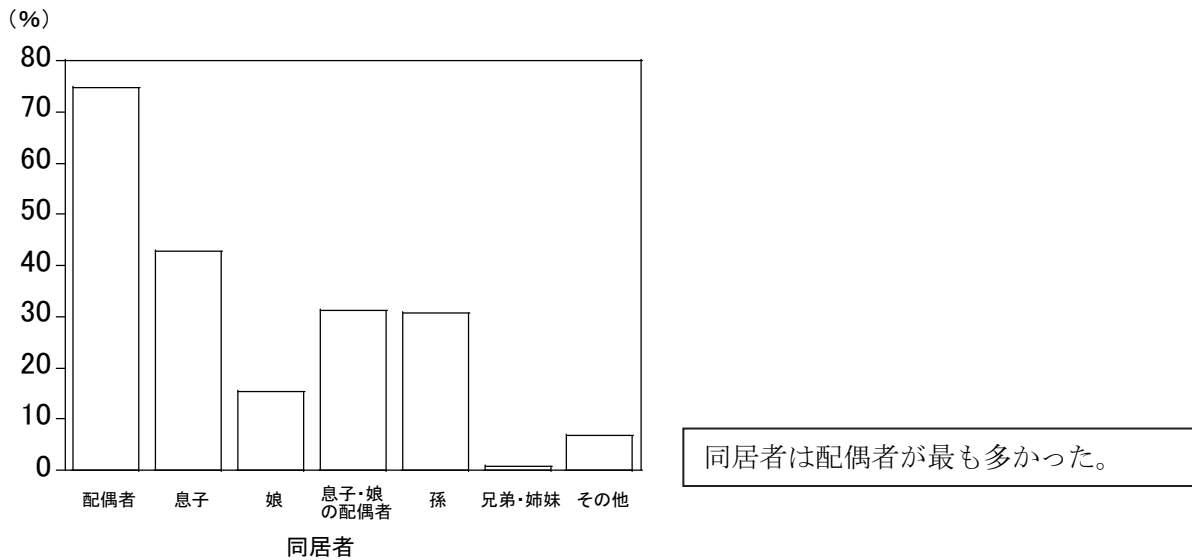


表 1-6-3 同居と回答した人の同居者の内訳(複数回答)

同居と回答した人の同居者の内訳 (複数回答)	n	%
配偶者	112	74.7
息子	64	42.7
娘	23	15.3
息子・娘の配偶者	47	31.3
孫	46	30.7
兄弟・姉妹	1	0.7
その他	10	6.7

1-7 生まれ育った所

図 1-7 生まれ育った所

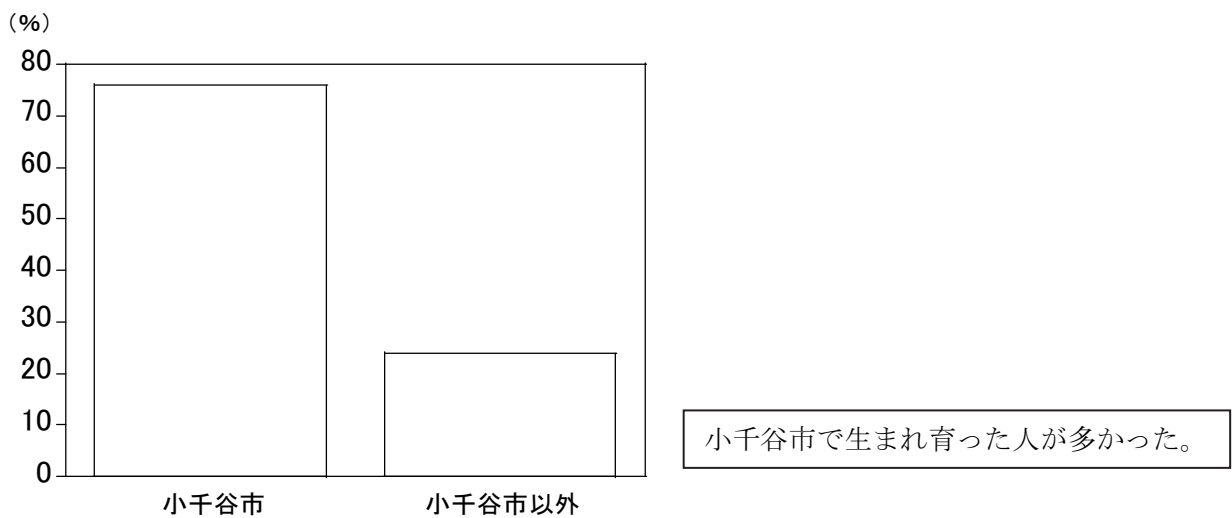


表 1-7 生まれ育った所別人数

生まれ育った所	n	%
小千谷市	114	76.0
小千谷市以外	36	24.0
合計	150	100.0

1-8 兄弟姉妹がいるか

1-8-1 兄がいる人の人数分布

兄がいる人は約 51%であった。

表 1-8-1 兄がいる人の人数

兄	n	%
0	73	48.7
1	40	26.7
2	21	14.0
3	9	6.0
4	4	2.7
5	2	1.3
6	1	0.7
合計	150	100.0

1-8-2 姉がいる人の人数分布

姉がいる人は約 51%であった。

表 1-8-2 姉がいる人の人数

姉	n	%
0	73	48.7
1	29	19.3
2	25	16.7
3	16	10.7
4	6	4.0
5	1	0.7
6	0	0.0
合計	150	100.0

1-8-3 弟がいる人の人数分布

弟がいる人は約 55%であった。

表 1-8-3 弟がいる人の人数

弟	n	%
0	67	44.7
1	45	30.0
2	21	14.0
3	13	8.7
4	4	2.7
5	0	0.0
6	0	0.0
合計	150	100.0

1-8-4 妹がいる人の人数分布

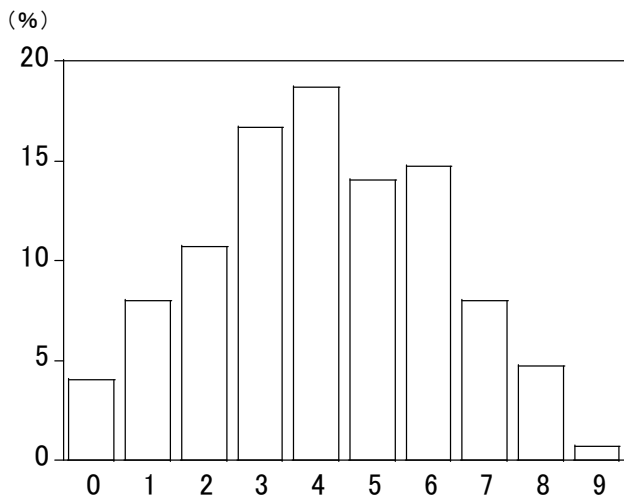
妹がいる人は約 65%であった。

表 1-8-4 妹がいる人の人数

妹	n	%
0	53	35.3
1	51	34.0
2	24	16.0
3	14	9.3
4	5	3.3
5	1	0.7
6	2	1.3
合計	150	100.0

1-8-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人の人数分布

図 1-8-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人の人数(%分布)



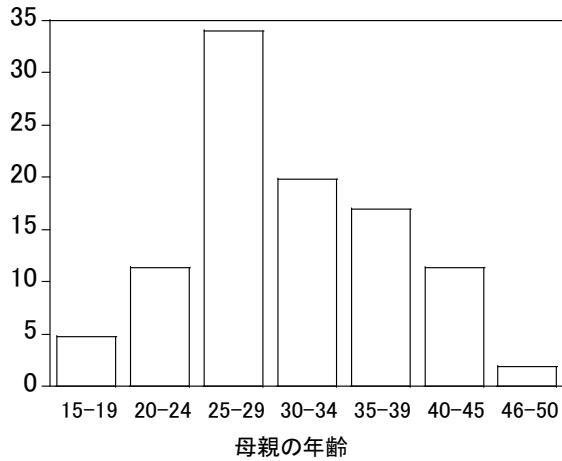
兄弟姉妹のいずれかがいる人は約 96%であった。

表 1-8-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人の人数

兄弟姉妹の合計人数	n	%
0	6	4.0
1	12	8.0
2	16	10.7
3	25	16.7
4	28	18.7
5	21	14.0
6	22	14.7
7	12	8.0
8	7	4.7
9	1	0.7

1-9 母親が何歳の時の子どもか

図 1-9 子どもを産んだ時の母親の年齢分布 (%)



25～29歳で産む母親が最も多かった。

表 1-9 子どもを産んだ時の母親の年齢分布

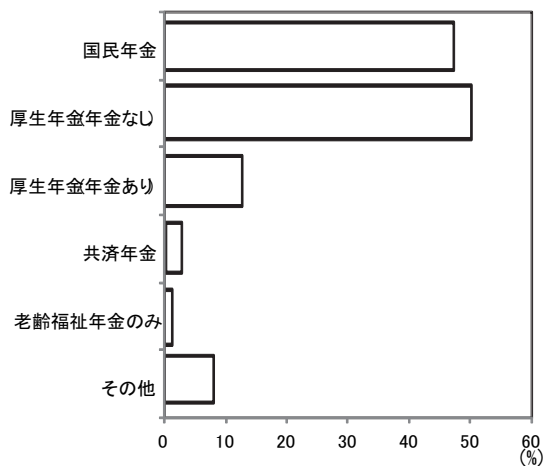
母親が何歳の時の子どもか(歳)	n	%
15-19	5	4.7
20-24	12	11.3
25-29	36	34.0
30-34	21	19.8
35-39	18	17.0
40-45	12	11.3
46-50	2	1.9
合計	106	100.0

○平均年齢は 30.7 歳 欠損値 44

1-10 経済状況

1-10-1 年金の種類

図 1-10-1 年金の種類(複数回答)



厚生年金と国民年金が多かった。

表 1-10-1 年金の種類(複数回答)

年金の種類	n	%
国民年金	71	47.3
厚生年金 (年金なし)	76	50.7
厚生年金 (年金あり)	19	12.7
共済年金	4	2.7
老齢福祉年金のみ	2	1.3
その他	12	8.0

1-10-2 家計の主な収入

図 1-10-2 家計の主な収入

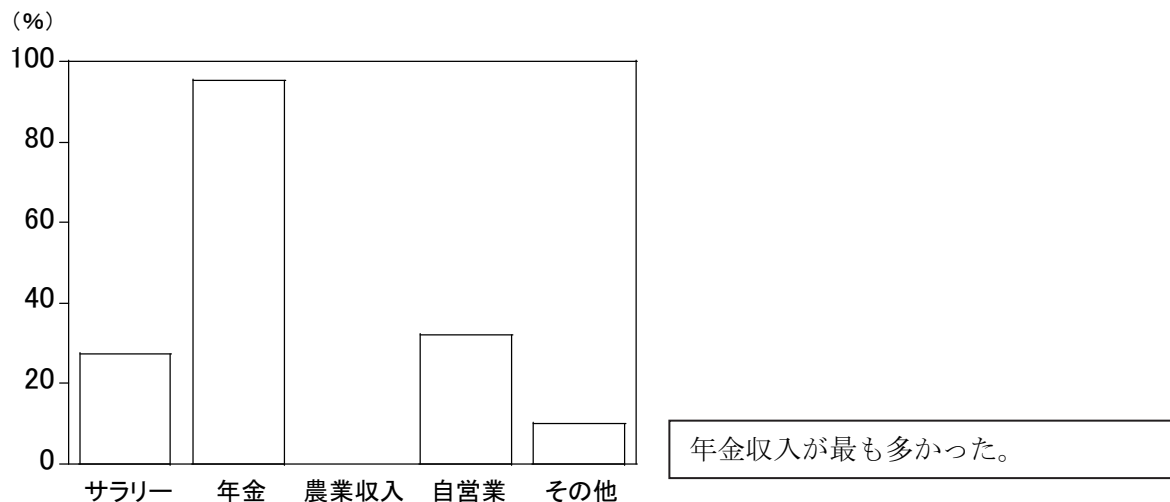


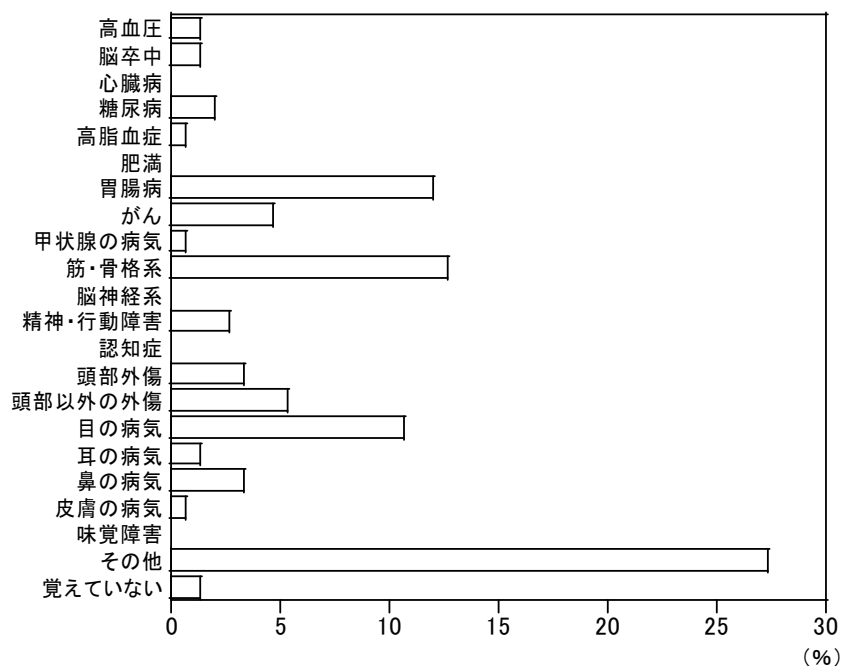
表 1-10-2 家計の主な収入別人数(複数回答)

家計の主な収入	n	%
サラリー	41	27.3
年金	143	95.3
農業収入	0	0.0
自営業	48	32.0
その他	15	10.0

2 健康状況

2-1 既往歴

図 2-1 既往歴(複数回答)



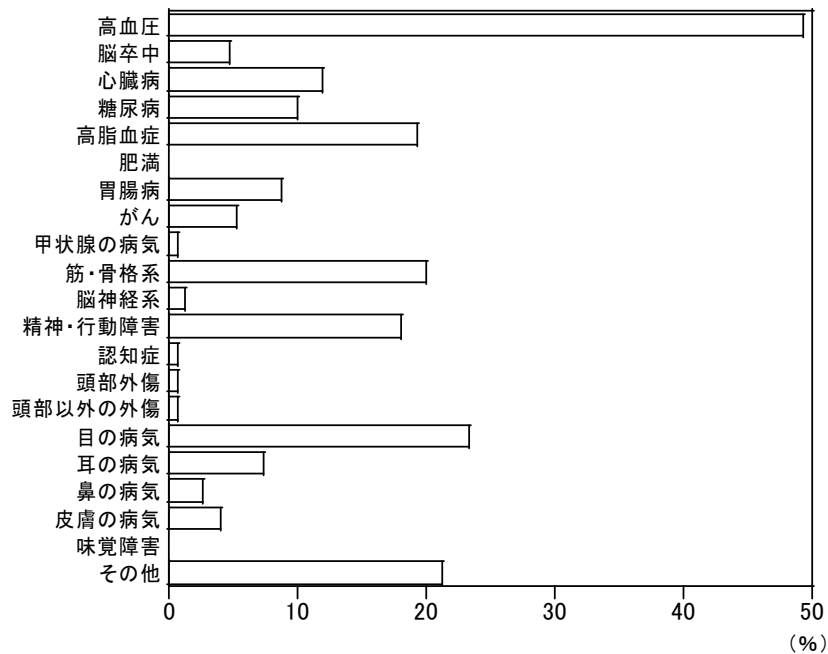
胃腸病、筋・骨格系疾患、目の病気が多かった。

表 2-1 既往歴(複数回答)

既往疾患	n	%
高血圧	2	1.3
脳卒中	2	1.3
心臓病	0	0.0
糖尿病	3	2.0
高脂血症	1	0.7
肥満	0	0.0
胃腸病	18	12.0
がん	7	4.7
甲状腺の病気	1	0.7
筋・骨格系	19	12.7
脳神経系	0	0.0
精神・行動障害	4	2.7
認知症	0	0.0
頭部外傷	5	3.3
頭部以外の外傷	8	5.3
目の病気	16	10.7
耳の病気	2	1.3
鼻の病気	5	3.3
皮膚の病気	1	0.7
味覚障害	0	0.0
その他	41	27.3
覚えていない	2	1.3

2-2 現病歴

図 2-2 現病歴



高血圧症、高脂血症、筋・骨格系疾患、精神・行動障害、目の病気が多かった。

表 2-2 認知症発症年齢(人数)

現病歴 (複数回答)	n	%
高血圧	74	49.3
脳卒中	7	4.7
心臓病	18	12.0
糖尿病	15	10.0
高脂血症	29	19.3
肥満	0	0.0
胃腸病	13	8.7
がん	8	5.3
甲状腺の病気	1	0.7
筋・骨格系	30	20.0
脳神経系	2	1.3
精神・行動障害	27	18.0
認知症	1	0.7
頭部外傷	1	0.7
頭部以外の外傷	1	0.7
目の病気	35	23.3
耳の病気	11	7.3
鼻の病気	4	2.7
皮膚の病気	6	4.0
味覚障害	0	0.0
その他	32	21.3

2-3 家族歴

図 2-3 家族歴(複数回答)

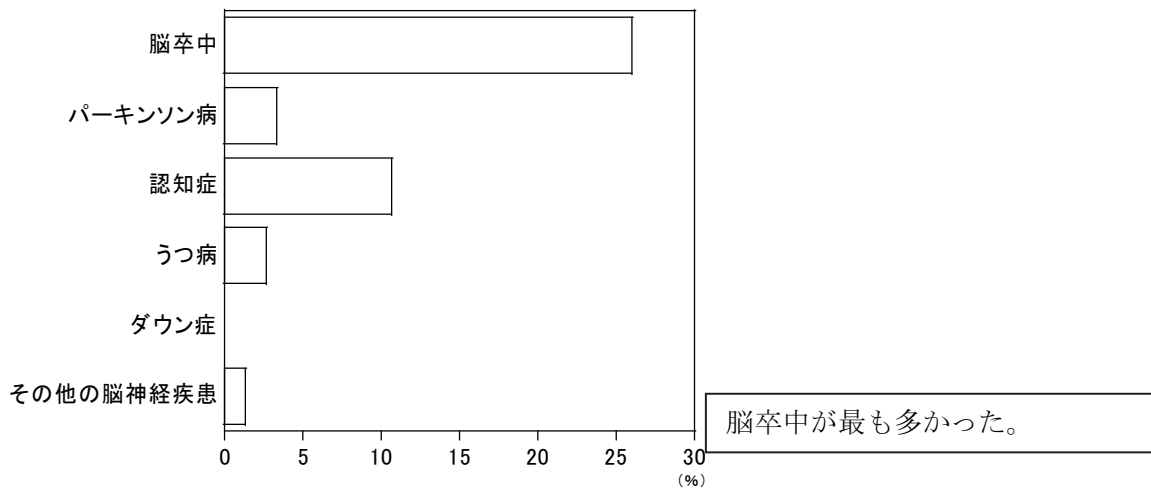


表 2-3 家族歴(複数回答)

家族歴	n	%
脳卒中	39	26.0
パーキンソン病	5	3.3
認知症	16	10.7
うつ病	4	2.7
ダウン症	0	0.0
その他の脳神経疾患	2	1.3

2-4 運動器の機能

2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

図 2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る (%)

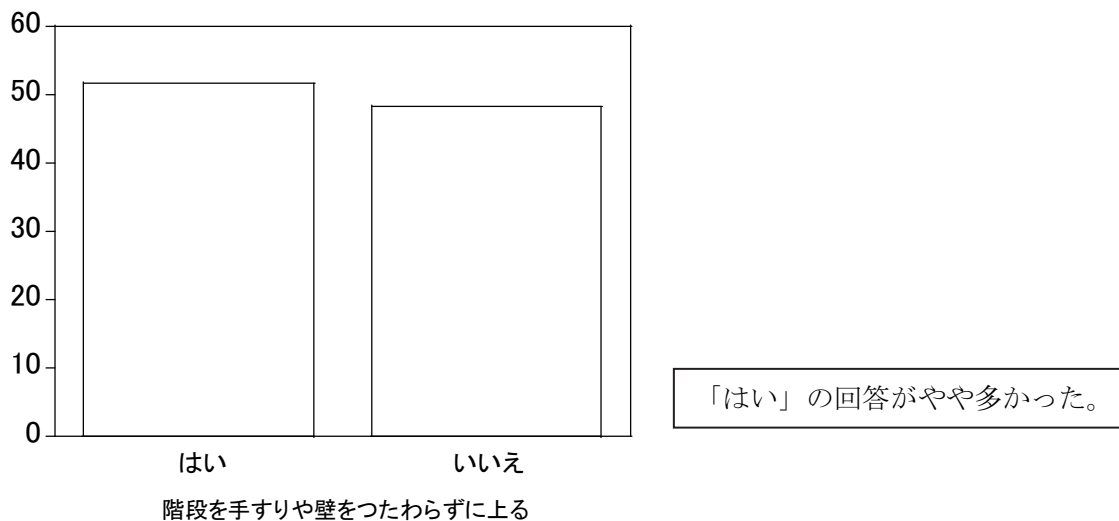


表 2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

回答	n	%
はい	77	51.7
いいえ	72	48.3
合計	149	100.0

欠損値 1

2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

図 2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

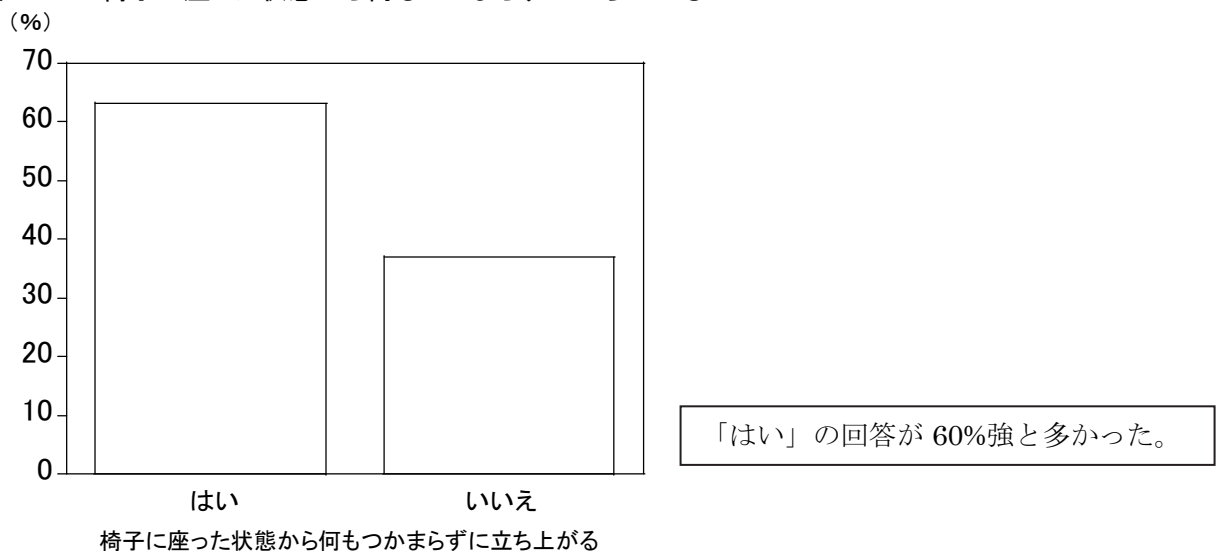


表 2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

回答	n	%
はい	94	63.1
いいえ	55	36.9
合計	149	100.0

欠損値 1

2-4-3 15分くらい続けて歩いている

図 2-4-3 15分くらい続けて歩いている

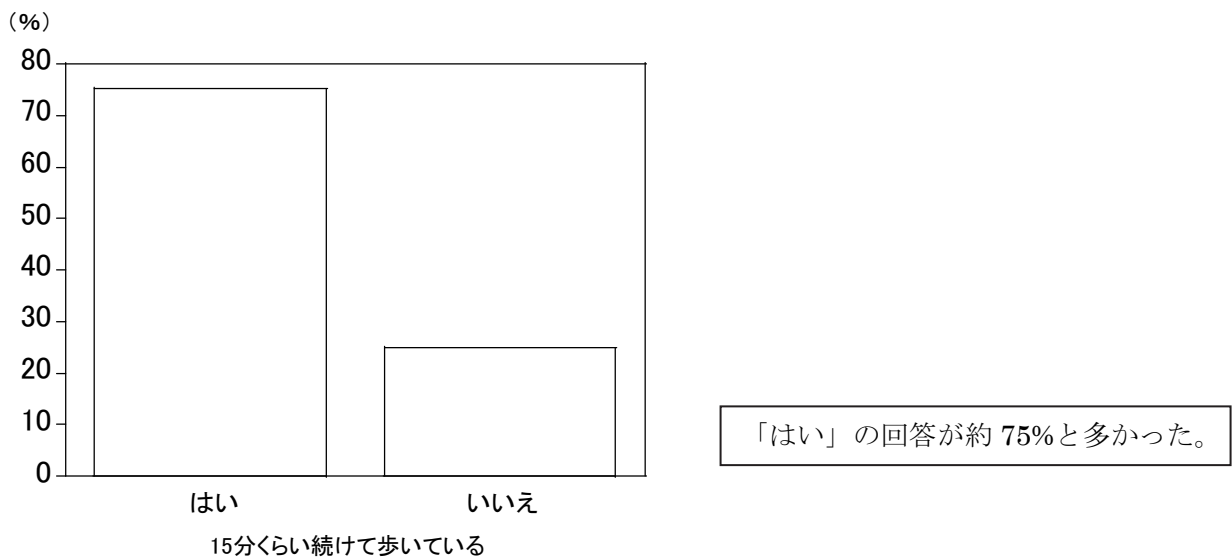


表 2-4-3 15分くらい続けて歩いている

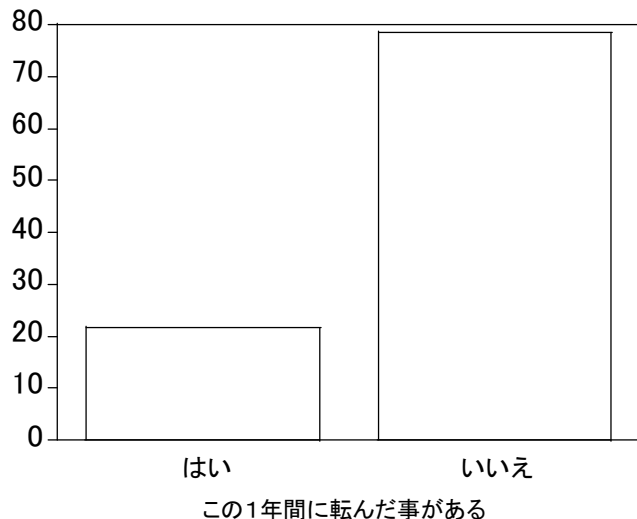
回答	n	%
はい	112	75.2
いいえ	37	24.8
合計	149	100.0

欠損値 1

2-4-4 この1年間に転んだ事がある

図 2-4-4 この1年間に転んだ事がある

(%)



「はい」の回答は20%強であった。

表 2-4-4 この1年間に転んだ事がある

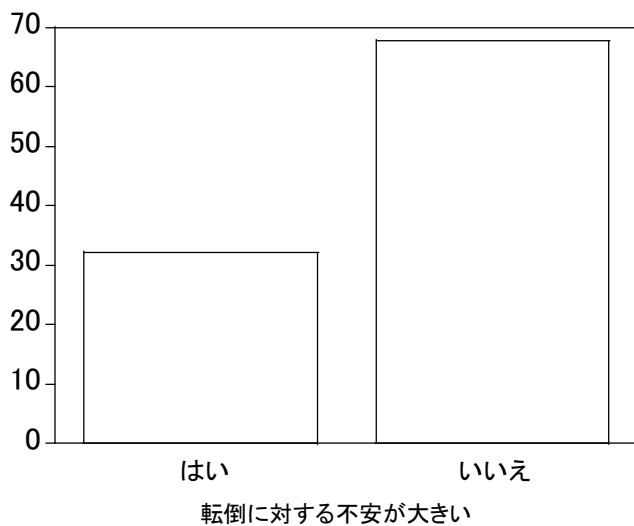
回答	n	%
はい	32	21.6
いいえ	116	78.4
合計	148	100.0

欠損値 2

2-4-5 転倒に対する不安が大きい

図 2-4-5 転倒に対する不安が大きい

(%)



「はい」の回答は約30%であった。

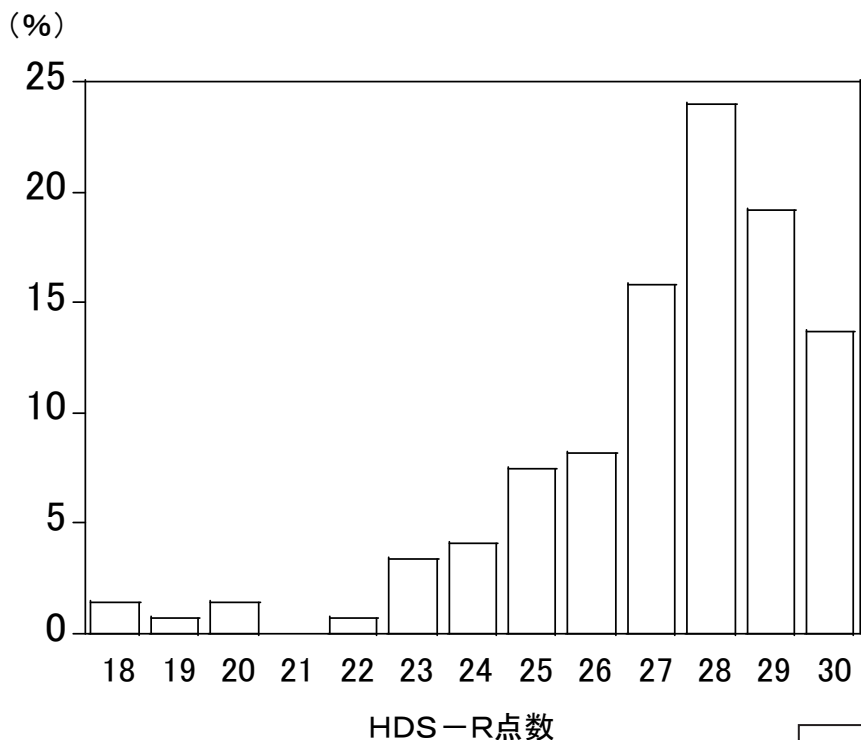
表 2-4-5 転倒に対する不安が大きい

転倒に対する不安が大きい	n	%
はい	48	32.2
いいえ	101	67.8
合計	149	100.0

欠損値 1

2-5 認知機能 (HDS-R点数)

図 2-5 認知機能 (HDS-R点数)



正規分布せず、28 点が最頻値である。

表 2-5 認知機能 (HDS-R点数)

HDS-R 点数	n	%
18	2	1.4
19	1	0.7
20	2	1.4
21	0	0.0
22	1	0.7
23	5	3.4
24	6	4.1
25	11	7.5
26	12	8.2
27	23	15.8
28	35	24.0
29	28	19.2
30	20	13.7
合計	146	100.0

欠損値 4

平均 27.2 点

2-6 うつ状態

2-6-1 現在の大きいうつエピソード

149 人中、0 人(欠損値 1)

うつのエピソードは見られない。

2-6-2 過去の大きいうつエピソード

149 人中、0 人(欠損値 1)

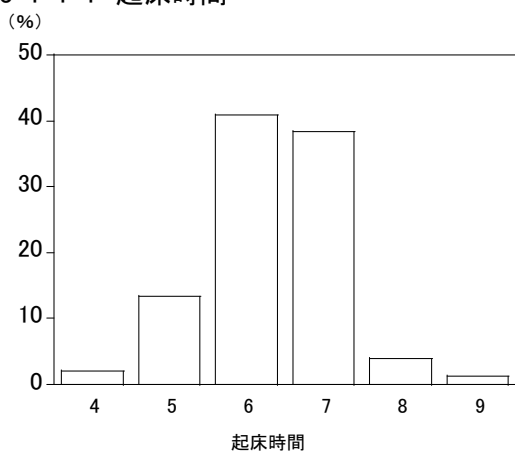
3 生活状況

3-1 1日の過ごし方(ここ1週間の暮らし方)

3-1-1 日課

3-1-1-1 起床

図 3-1-1-1 起床時間



6時と7時の起床が多かった。

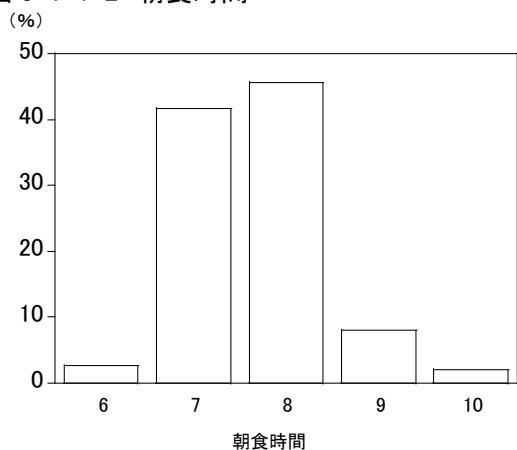
表 3-1-1-1 起床時間

起床時間	n	%
4	3	2.0
5	20	13.4
6	61	40.9
7	57	38.3
8	6	4.0
9	2	1.3
合計	149	100.0

欠損値 1

3-1-1-2 朝食

図 3-1-1-2 朝食時間



朝食は7時と8時が多かった。

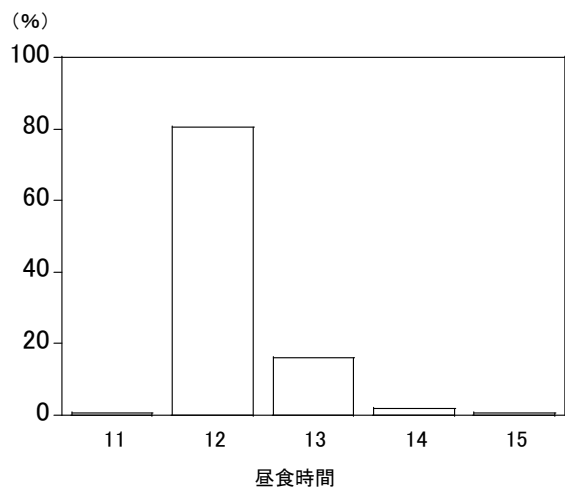
表 3-1-1-2 朝食時間

朝食時間	n	%
6	4	2.7
7	62	41.6
8	68	45.6
9	12	8.1
10	3	2.0
合計	149	100.0

欠損値 1

3-1-1-3 昼食

図 3-1-1-3 昼食時間



昼食は 12 時が最も多かった。

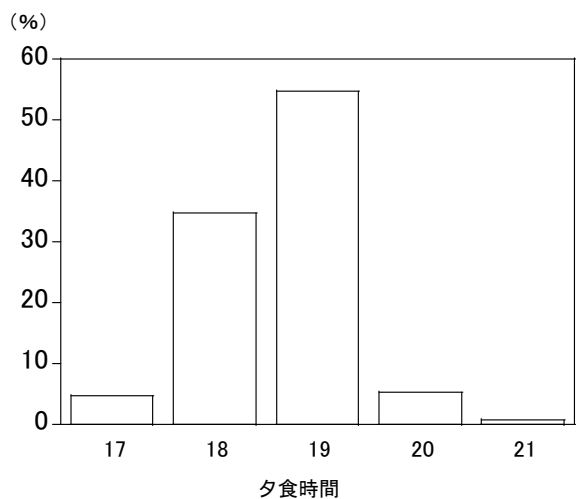
表 3-1-1-3 昼食時間

昼食時間	n	%
11	1	0.7
12	120	80.5
13	24	16.1
14	3	2.0
15	1	0.7
合計	149	100.0

欠損値 1

3-1-1-4 夕食

図 3-1-1-4 夕食時間



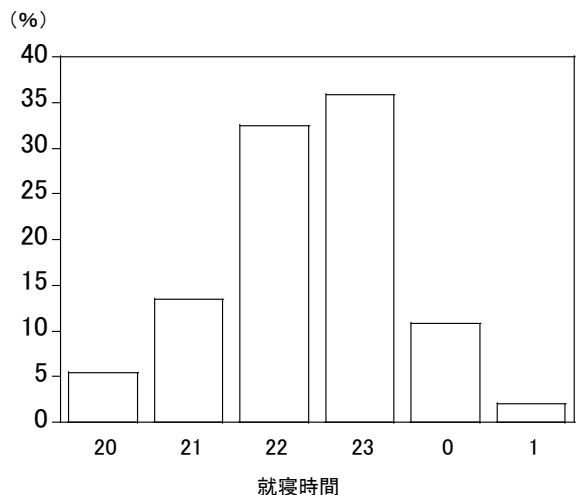
夕食は 19 時が最も多かった。

表 3-1-1-4 夕食時間

夕食時間分布	n	%
17	7	4.7
18	52	34.7
19	82	54.7
20	8	5.3
21	1	0.7
合計	150	100.0

3-1-1-5 就寝

図 3-1-1-5 就寝時間



就寝は 22 時と 23 時が多かった。

表 3-1-1-5 就寝時間

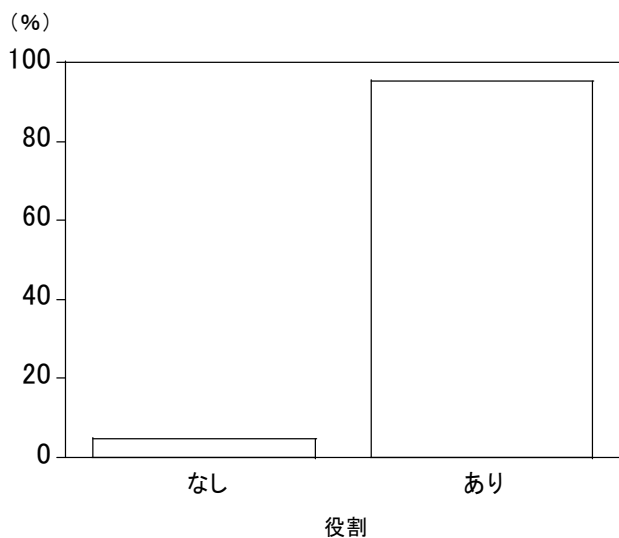
就寝時間	n	%
20	8	5.4
21	20	13.5
22	48	32.4
23	53	35.8
0	16	10.8
1	3	2.0
合計	148	100.0

欠損値 2

3-1-2 余暇(報酬を得て行う仕事以外の時間のことと定義)における活動について

3-1-2-1(家庭や地域社会における)役割

図 3-1-2-1 役割



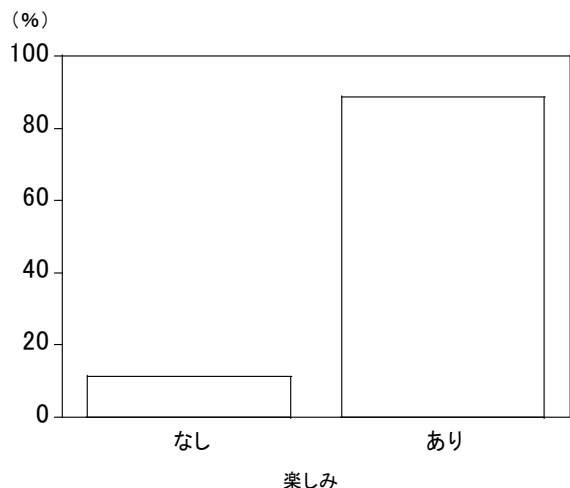
役割ありが圧倒的に多かった。

表 3-1-2-1 役割

回答	n	%
なし	7	4.7
あり	143	95.3
合計	150	100.0

3-1-2-2 楽しみ

図 3-1-2-2 楽しみ



楽しみありが圧倒的に多かった。対人交流は約 70%、その他は約 60%であった。

表 3-1-2-2-1 楽しみ

楽しみ	n	%
なし	17	11.3
あり	133	88.7
合計	150	100.0

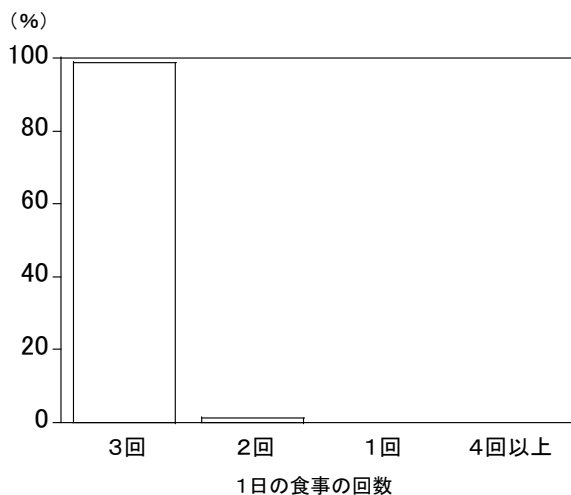
表 3-1-2-2-2 楽しみありの場合それは何か(複数回答)

回答	n	%
対人交流	107	71.3
その他	92	61.3

3-2 食生活

3-2-1 1日の食事の回数

図 3-2-1 1日の食事の回数



3回が圧倒的に多かった。

表 3-2-1 1日の食事の回数

1日の食事の回数	n	%
3回	146	98.7
2回	2	1.4
1回	0	0.0
4回以上	0	0.0
合計	148	100.0

欠損値 2

3-2-2 主食

図 3-2-2-1 朝食の主食

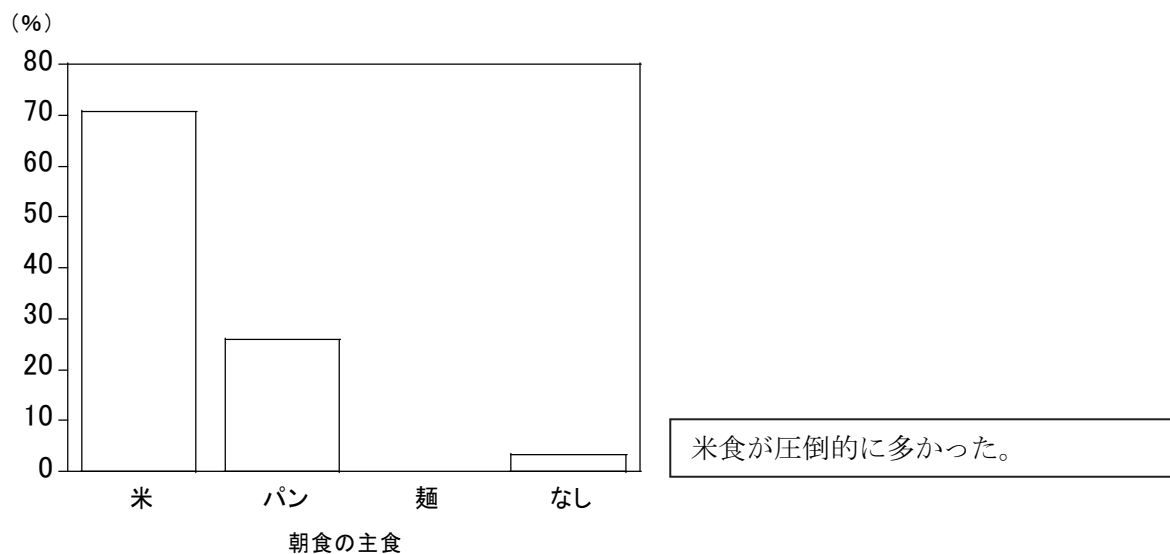


表 3-2-2-1 朝食の主食

朝食	n	%
米	106	70.7
パン	39	26.0
麺	0	0.0
なし	5	3.3
合計	150	100.0

図 3-2-2-2 昼食の主食

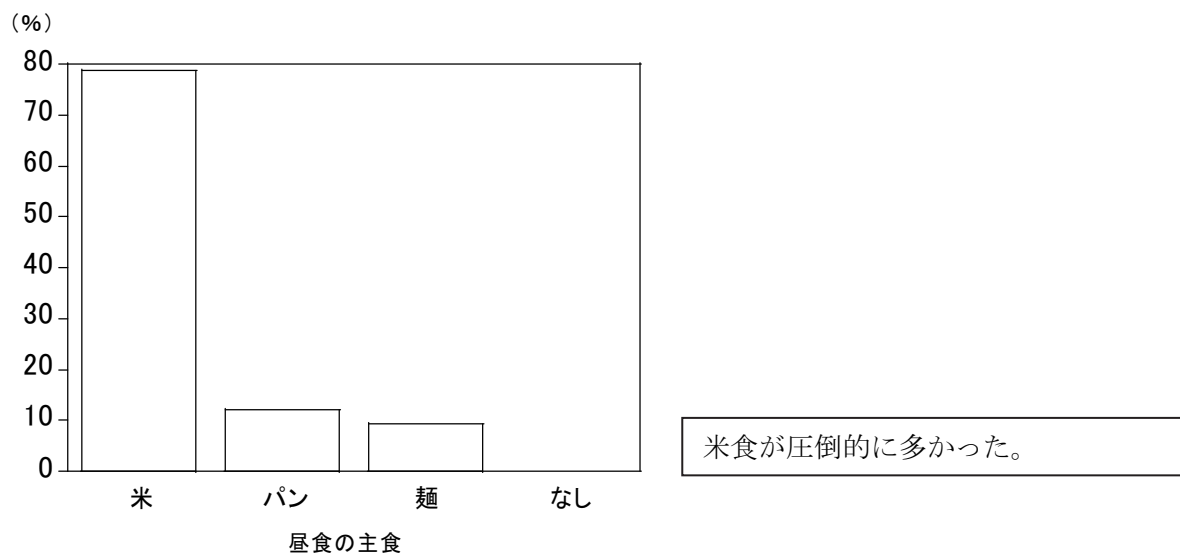
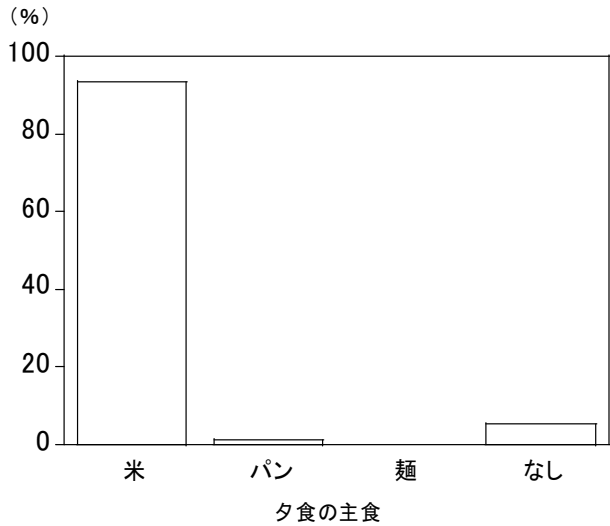


表 3-2-2-2 昼食の主食

昼食	n	%
米	118	78.7
パン	18	12.0
麺	14	9.3
なし	0	0.0
合計	150	100.0

図 3-2-2-3 夕食の主食



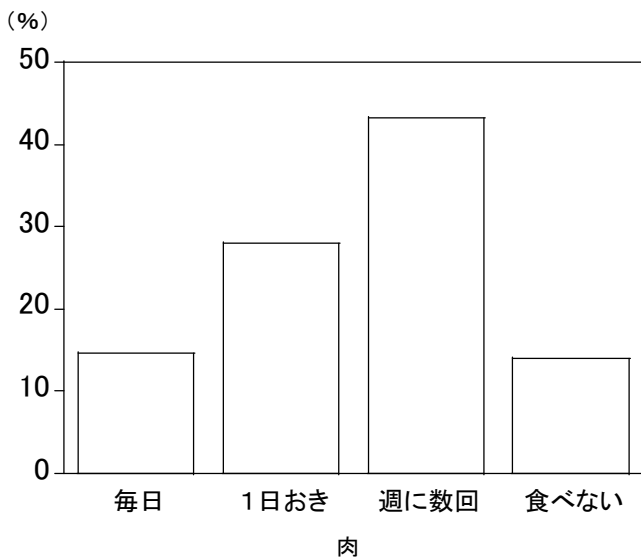
米食が圧倒的に多かった。

表 3-2-2-3 夕食の主食

夕食	n	%
米	140	93.3
パン	2	1.3
麺	0	0.0
なし	8	5.3
合計	150	100.0

3-2-3 食品摂取傾向

図 3-2-3-1 肉

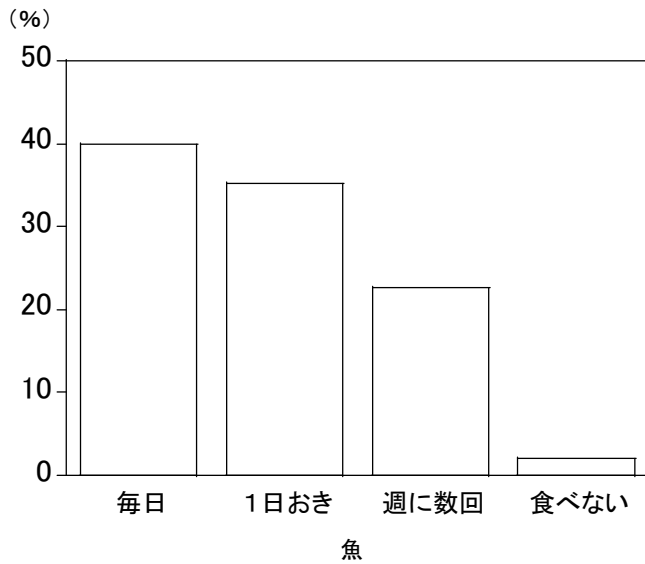


週に数回が最も多かった。

表 3-2-3-1 肉

肉	n	%
毎日	22	14.7
1日おき	42	28.0
週に数回	65	43.3
食べない	21	14.0
合計	150	100.0

図 3-2-3-2 魚

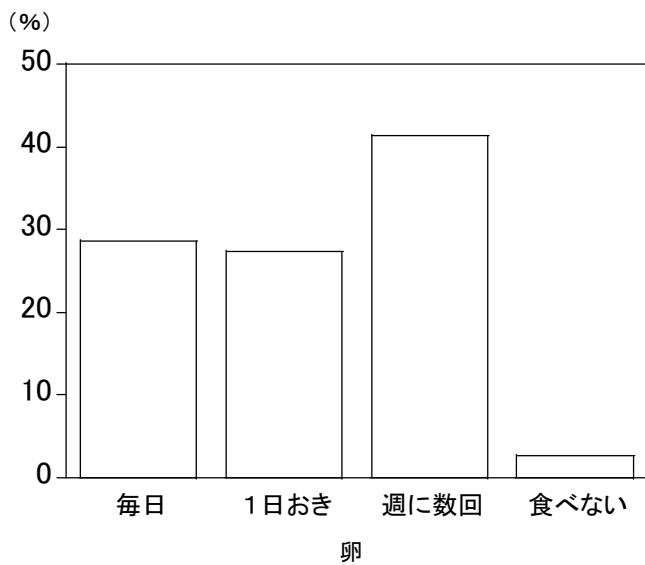


毎日食べるが最も多かった。

表 3-2-3-2 魚

魚	n	%
毎日	60	40.0
1日おき	53	35.3
週に数回	34	22.7
食べない	3	2.0
合計	150	100.0

図 3-2-3-3 卵

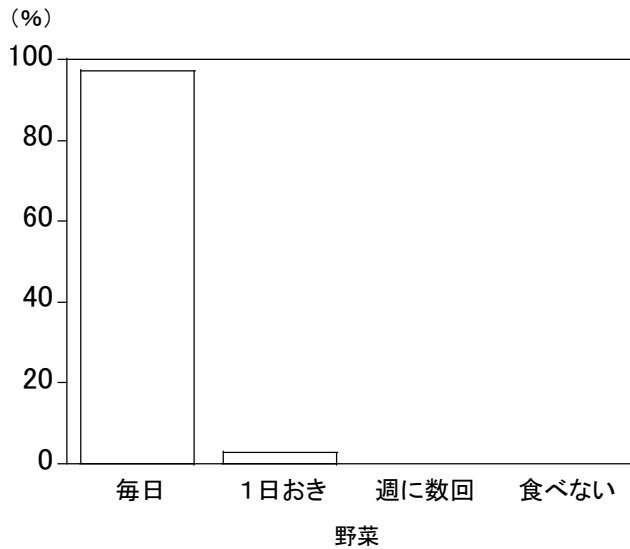


週に数回食べるが最も多かった。

表 3-2-3-3 卵

卵	n	%
毎日	43	28.7
1日おき	41	27.3
週に数回	62	41.3
食べない	4	2.7
合計	150	100.0

図 3-2-3-4 野菜



毎日食べるが圧倒的に多かった。

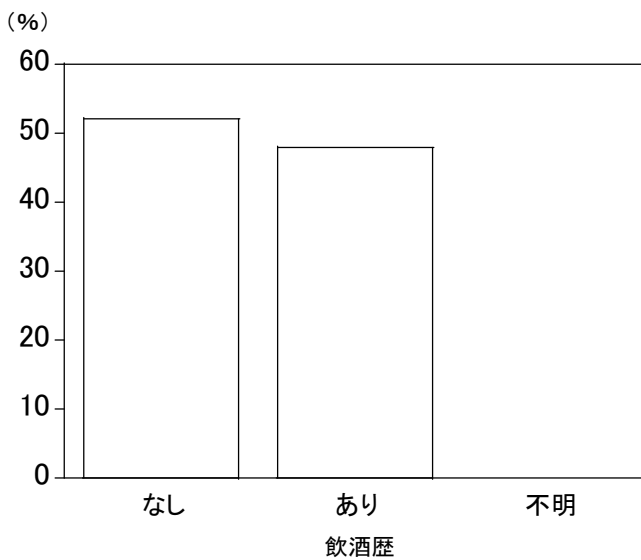
表 3-2-3-4 野菜

野菜	n	%
毎日	146	97.3
1日おき	4	2.7
週に数回	0	0.0
食べない	0	0.0
合計	150	100.0

3-3 嗜好品

3-3-1 飲酒歴

図 3-3-1-1 飲酒歴



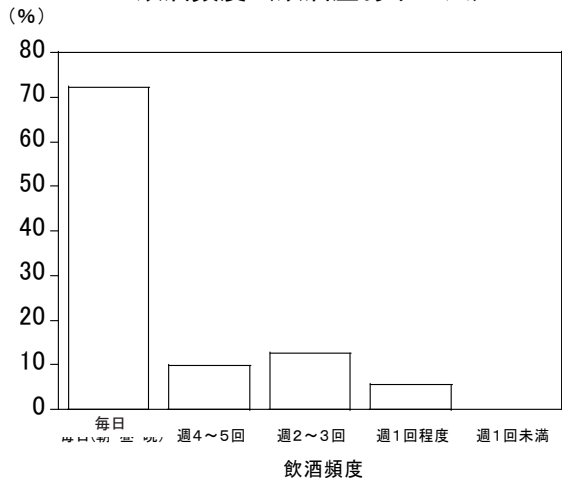
飲酒しないがやや多かった。

表 3-3-1-1 飲酒歴

飲酒歴	n	%
なし	78	52.0
あり	72	48.0
不明	0	0.0
合計	150	100.0

飲酒年数 平均 42.1 年(ありの人)

図 3-3-1-2 飲酒頻度（飲酒歴ありの人）

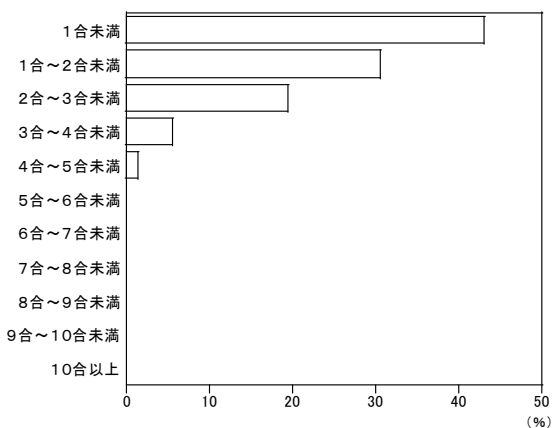


毎日飲酒するが最も多かった。

表 3-3-1-2 飲酒頻度（飲酒歴ありの人）

飲酒頻度	n	%
毎日	52	72.2
週4~5回	7	9.7
週2~3回	9	12.5
週1回程度	4	5.6
週1回未満	0	0.0
合計	72	100.0

図 3-3-1-3 飲酒量（飲酒歴ありの人）



1合未満が最も多かった。

表 3-3-1-3 飲酒量（飲酒歴ありの人）

飲酒量(日本酒換算)	n	%
1合未満	31	43.1
1合~2合未満	22	30.6
2合~3合未満	14	19.4
3合~4合未満	4	5.6
4合~5合未満	1	1.4
5合~6合未満	0	0.0
6合~7合未満	0	0.0
7合~8合未満	0	0.0
8合~9合未満	0	0.0
9合~10合未満	0	0.0
10合以上	0	0.0
合計	72	100.0

3-3-2 喫煙歴

図 3-3-2 喫煙歴

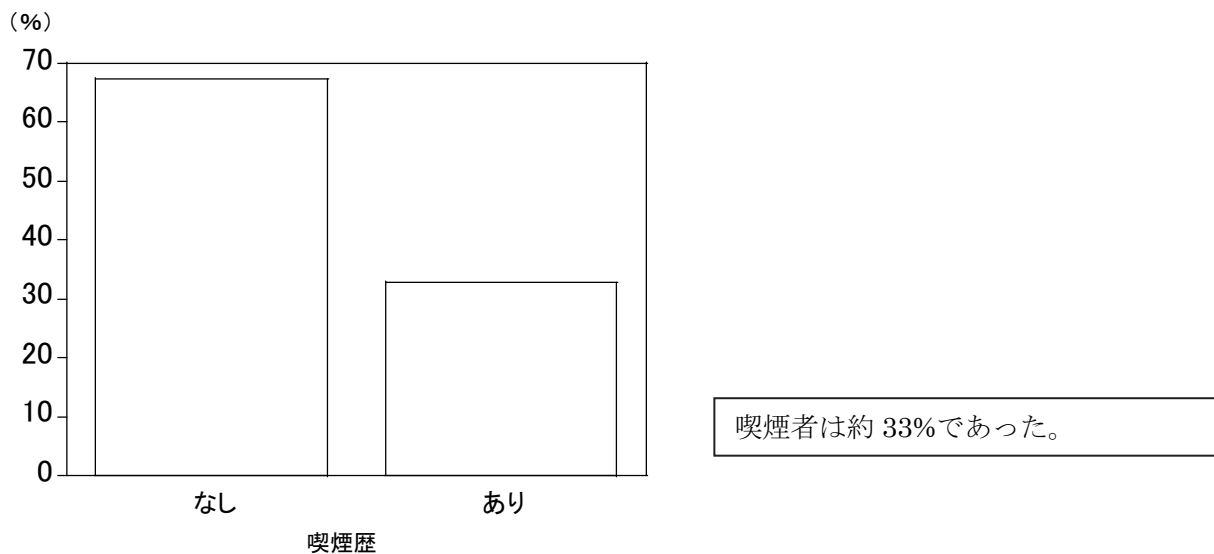


表 3-3-2 喫煙歴

喫煙歴	n	%
なし	101	67.3
あり	49	32.7
合計	150	100.0

1日の本数 平均 17.0 本

喫煙年数 平均 37.4 年

やめた 平均 20.7 年前

3-3-3 間食

図 3-3-3 間食

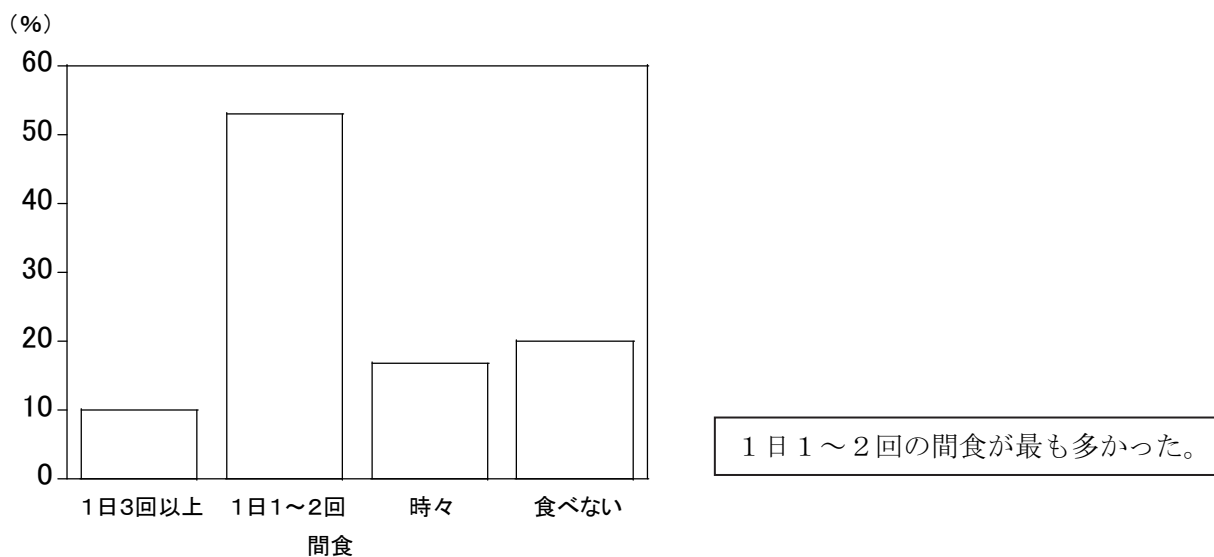


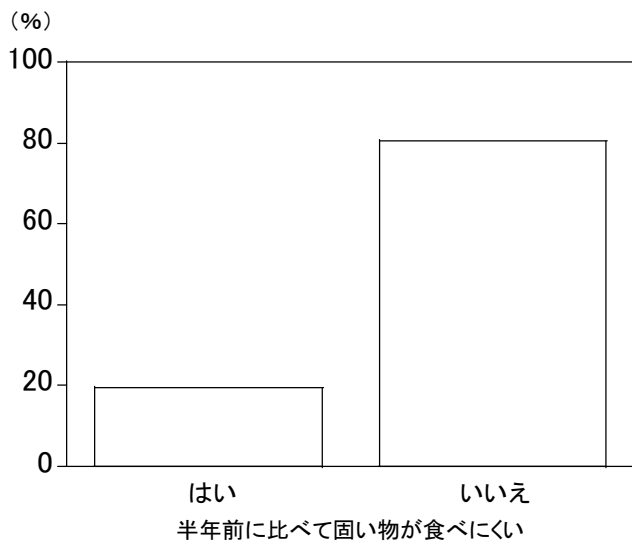
表 3-3-3 間食

間食	n	%
1日3回以上	15	10.1
1日1~2回	79	53.0
時々	25	16.8
食べない	30	20.1
合計	149	100.0

欠損値 1

3-4 口腔機能

図 3-4-1 半年前に比べて固い物が食べにくい



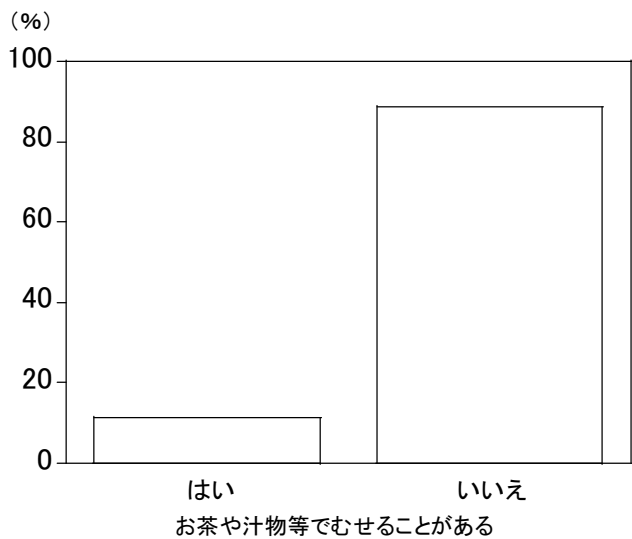
「いいえ」の回答が約 80%と多かった。

表 3-4-1 半年前に比べて固い物が食べにくい

半年前に比べて固い物が食べにくい	n	%
はい	29	19.5
いいえ	120	80.5
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-4-2 お茶や汁物等でむせることがある



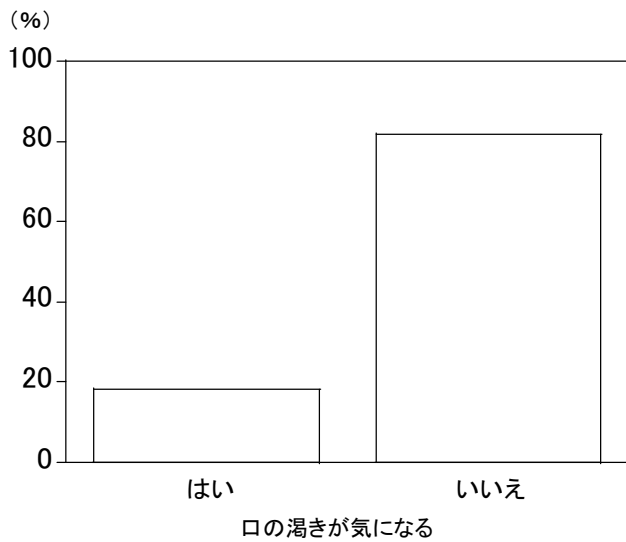
「いいえ」の回答が約 90%と多かった。

表 3-4-2 お茶や汁物等でむせることがある

お茶や汁物等でむせることがある	n	%
はい	17	11.4
いいえ	132	88.6
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-4-3 口の渇きが気になる



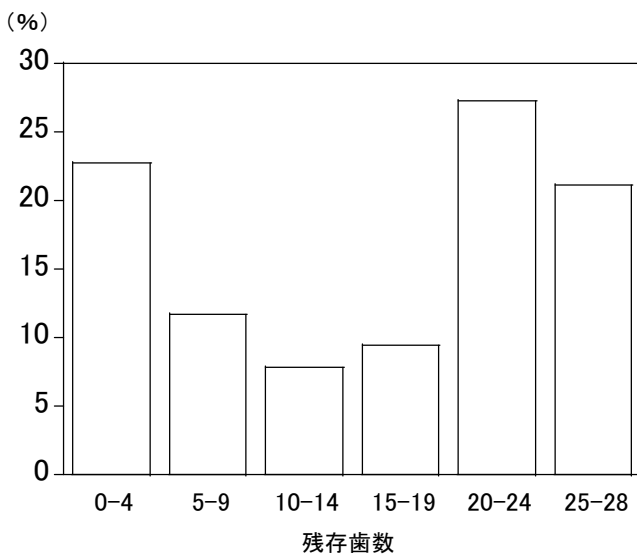
「いいえ」の回答が約 80%と多かった。

表 3-4-3 口の渇きが気になる

口の渇きが気になる	n	%
はい	27	18.1
いいえ	122	81.9
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-4-4 残存歯数



20～24 本の残存歯が最も多かった。

表 3-4-4 残存歯数

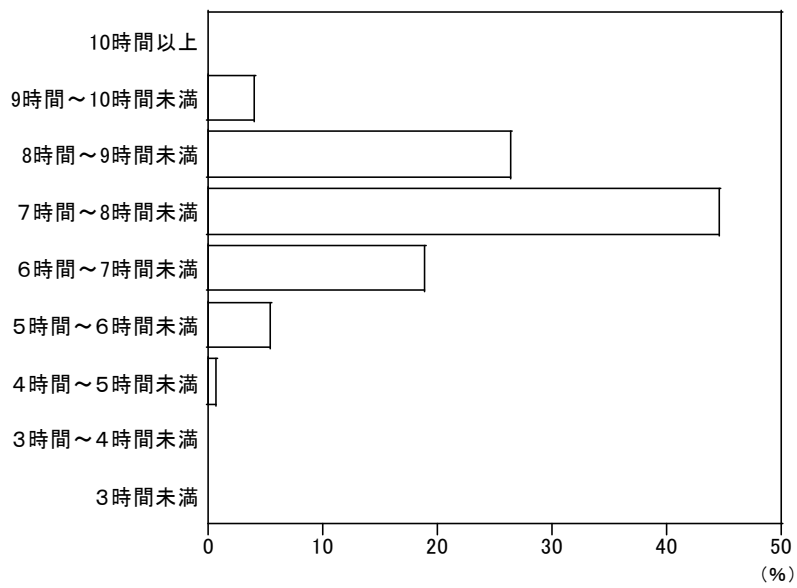
残存歯数	n	%
0-4	29	22.7
5-9	15	11.7
10-14	10	7.8
15-19	12	9.4
20-24	35	27.3
25-28	27	21.1
合計	128	100.0

欠損値 22

平均 17.0 本

3-5 睡眠

図 3-5-1 睡眠時間



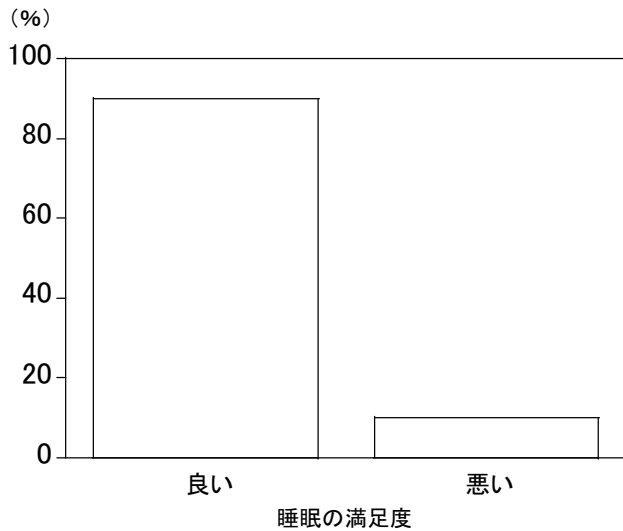
7～8時間が最も多かった。

表 3-5-1 睡眠時間

睡眠時間	n	%
10 時間以上	0	0.0
9 時間～10 時間未満	6	4.1
8 時間～9 時間未満	39	26.4
7 時間～8 時間未満	66	44.6
6 時間～7 時間未満	28	18.9
5 時間～6 時間未満	8	5.4
4 時間～5 時間未満	1	0.7
3 時間～4 時間未満	0	0.0
3 時間未満	0	0.0
合計	148	100.0

欠損値 2

図 3-5-2 睡眠の満足度



良いが約 90%と多かった。睡眠が悪い人の覚醒では中途覚醒が 60%と多かった。

表 3-5-2 睡眠の満足度

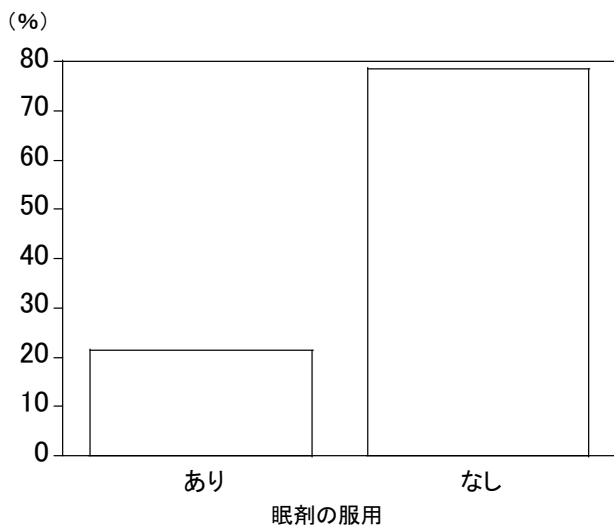
睡眠の満足度	n	%
良い	134	89.9
悪い	15	10.1
合計	149	100.0

欠損値 1

睡眠が悪い人の理由	n	%
早朝覚醒	1	6.7
中途覚醒	9	60.0
入眠障害	4	26.7

未回答 1

図 3-5-3 眠剤の服用



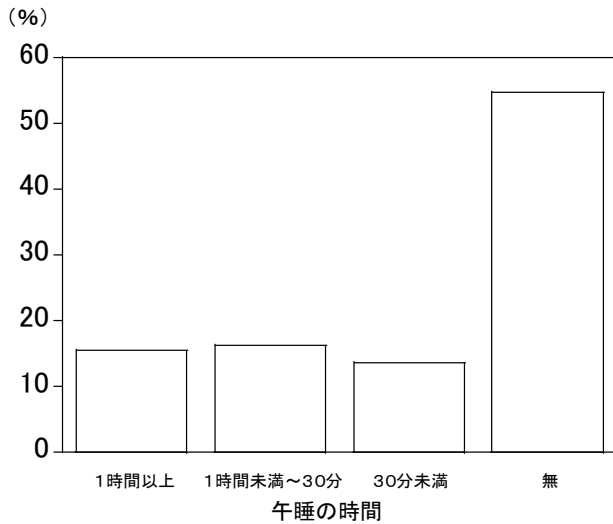
眠剤服用者は約 20%であった。

表 3-5-3 眠剤の服用

眠剤の服用	n	%
あり	32	21.5
なし	117	78.5
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-5-4-1 午睡の時間



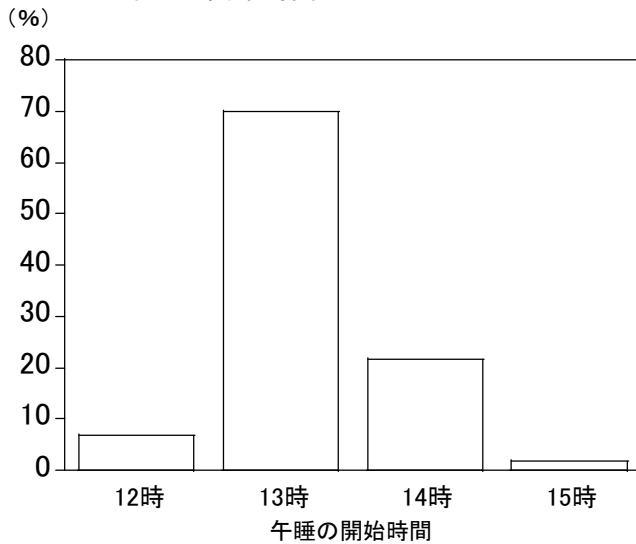
午睡する者は約 45%であった。

表 3-5-4-1 午睡の時間

午睡の時間	n	%
1時間以上	23	15.5
1時間未満～30分	24	16.2
30分未満	20	13.5
なし	81	54.7
合計	148	100.0

欠損値 2

図 3-5-4-2 午睡の開始時間



午睡開始時間は13時が最も多かった。

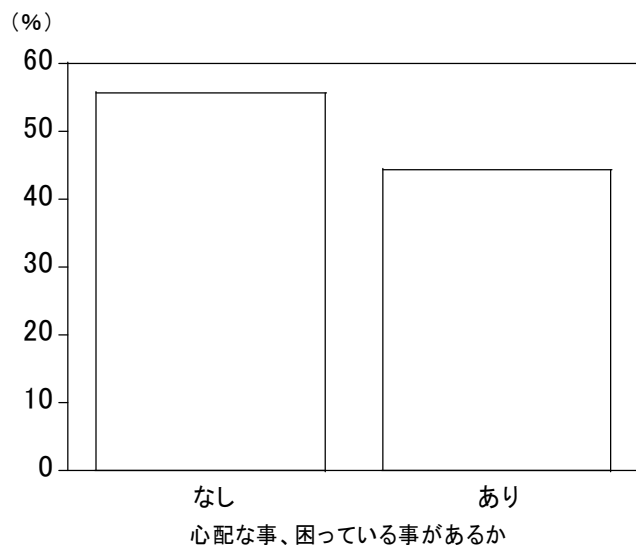
表 3-5-4-2 午睡の開始時間(午睡する人)

午睡の開始時間	n	%
12時	4	6.7
13時	42	70.0
14時	13	21.7
15時	1	1.7
合計	60	100.0

未回答 7

3-6 心配な事、困っている事

図 3-6 心配な事、困っている事があるか



心配ごとのある人は 44%と約半数であった。

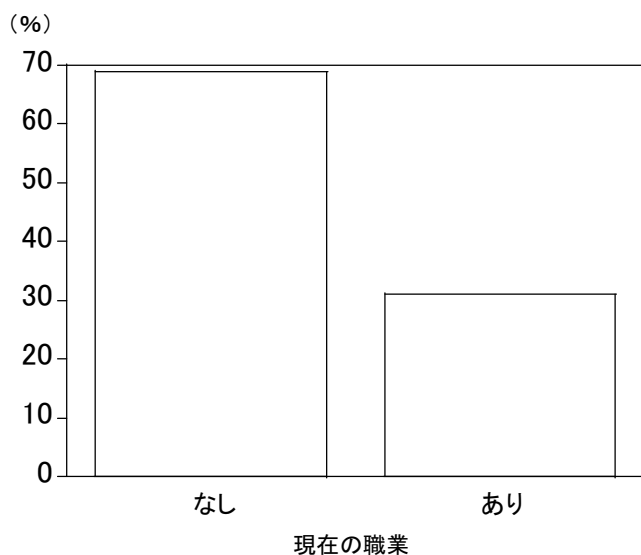
表 3-6 心配な事、困っている事があるか

心配な事、困っている事	n	%
なし	83	55.7
あり	66	44.3
合計	149	100.0

欠損値 1

3-7 職業

図 3-7-1 現在の職業



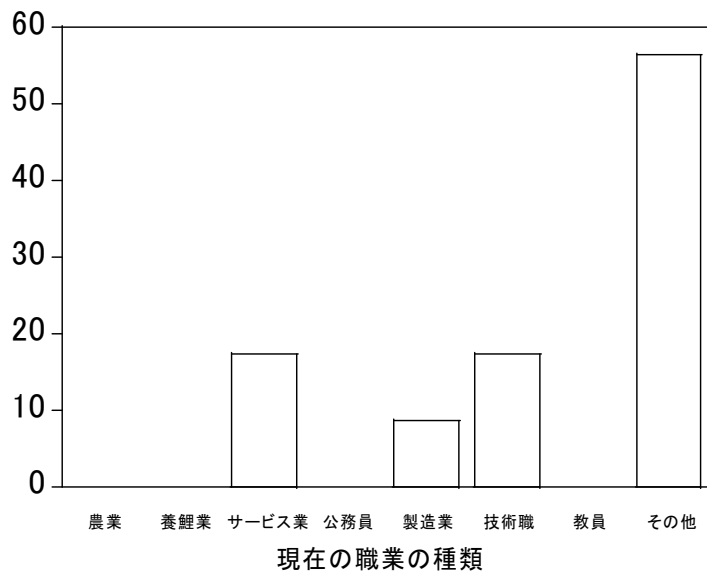
現在職業がある人は約 30%であった。

表 3-7-1 現在の職業

現在の職業	n	%
なし	102	68.9
あり	46	31.1
合計	148	100.0

欠損値 2

図 3-7-2 現在の職業の種類
(%)

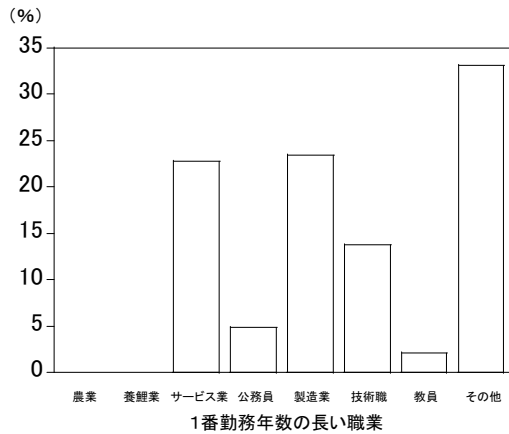


その他の職業は、シルバー人材センター、管理的仕事、販売業、手伝いなどであった。

表 3-7-2 現在の職業の種類

現在の職業の種類 (ある人)	n	%
農業	0	0.0
養鯉業	0	0.0
サービス業	8	17.4
公務員	0	0.0
製造業	4	8.7
技術職	8	17.4
教員	0	0.0
その他	26	56.5
合計	46	100.0

図 3-7-3 1番勤務年数の長い職業



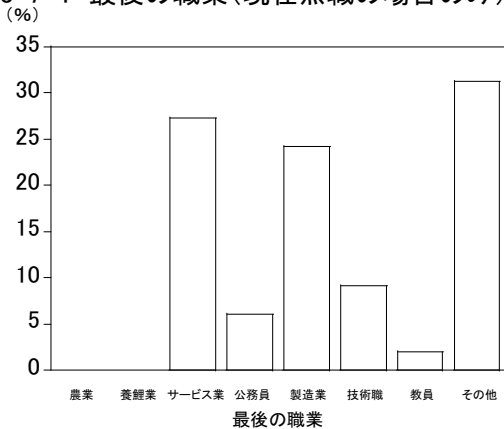
1番勤務年数の長い職業ではサービス業と製造業が多かった。

表 3-7-3 1番勤務年数の長い職業

1番勤務年数の長い職業	n	%
農業	0	0.0
養鯉業	0	0.0
サービス業	33	22.8
公務員	7	4.8
製造業	34	23.4
技術職	20	13.8
教員	3	2.1
その他	48	33.1
合計	145	100.0

欠損値 5

図 3-7-4 最後の職業(現在無職の場合のみ)



1番勤務年数の長い最後の職業ではサービス業と製造業が多かった。

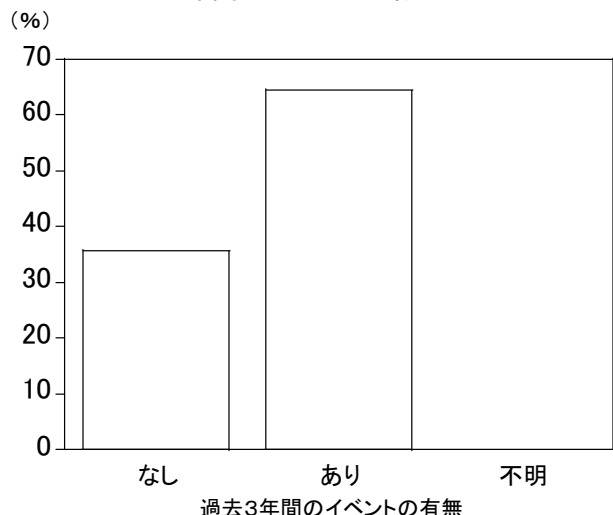
表 3-7-4 最後の職業(現在無職の場合のみ)

最後の職業	n	%
農業	0	0.0
養鯉業	0	0.0
サービス業	27	27.3
公務員	6	6.1
製造業	24	24.2
技術職	9	9.1
教員	2	2.0
その他	31	31.3
合計	99	100.0

欠損値 3

3-8 過去3年間のイベント

図 3-8-1 過去3年間のイベントの有無



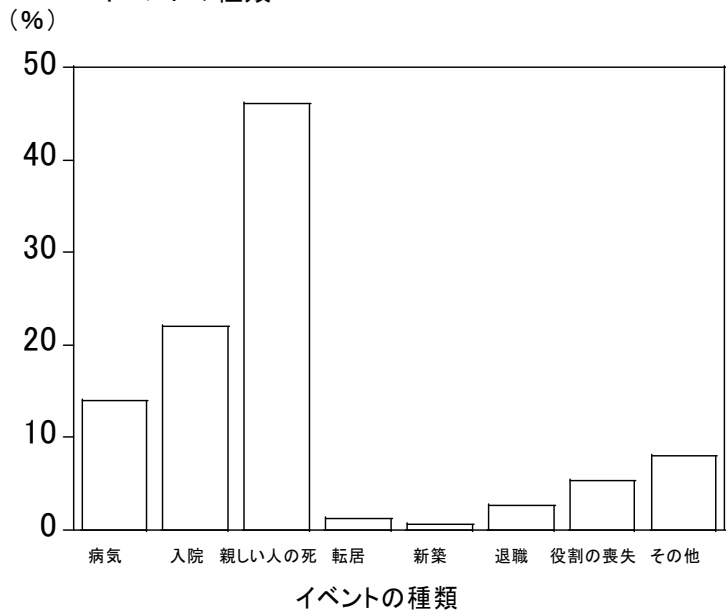
ライフイベントありと回答した人は64%であった。

表 3-8-1 過去3年間のイベントの有無

過去3年間のイベント	n	%
なし	53	35.6
あり	96	64.4
不明	0	0.0
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-8-2 イベントの種類



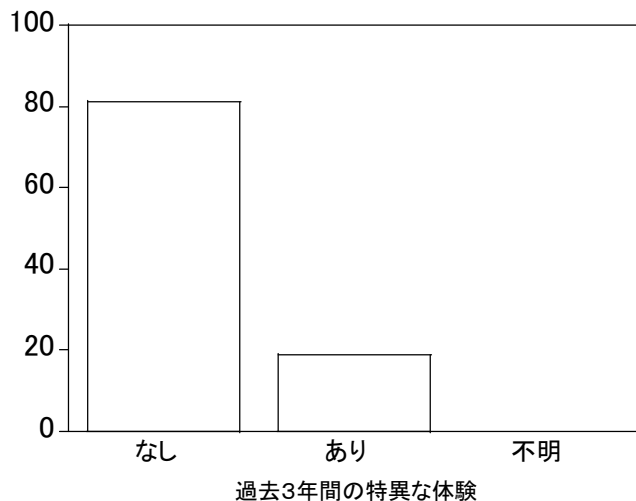
イベントの中では、親しい人の死が最も多かった。

表 3-8-2 イベントの種類

イベントの種類 (イベントありの場合、複数回答)	n	%
病気	21	14.0
入院	33	22.0
親しい人の死	69	46.0
転居	2	1.3
新築	1	0.7
退職	4	2.7
役割の喪失 (家庭内・町内会・老人会など)	8	5.3
その他	12	8.0

3-9 過去3年間の特異な体験

図 3-9-1 過去3年間の特異な体験の有無 (%)



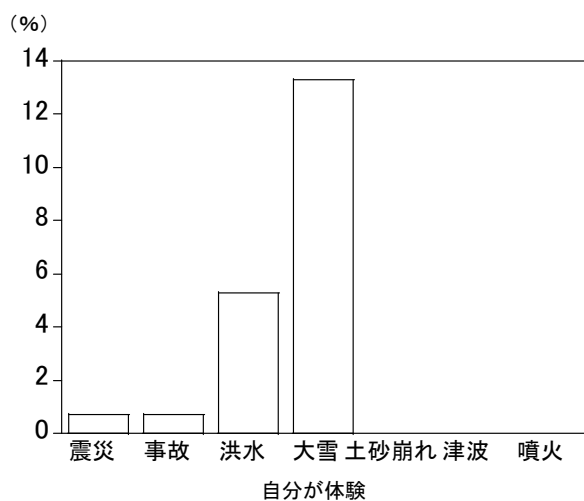
特異な体験ありの人は19%であった。

表 3-9-1 過去3年間の特異な体験の有無

特異な体験	n	%
なし	121	81.2
あり	28	18.8
不明	0	0.0
合計	149	100.0

欠損値 1

図 3-9-2 特異な体験の種類(自身が体験)

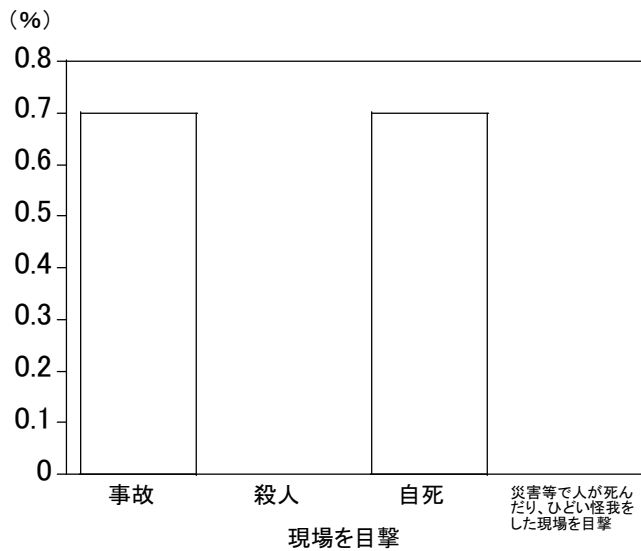


特異な体験の中では、大雪が最も多かった。

表 3-9-2 特異な体験の種類(自身が体験)

自身が体験 (特異な体験ありの場合、複数回答)	n	%
震災	1	0.7
事故	1	0.7
洪水	8	5.3
大雪	20	13.3
土砂崩れ	0	0.0
津波	0	0.0
噴火	0	0.0

図 3-9-3 特異な体験の種類(現場を目撃)



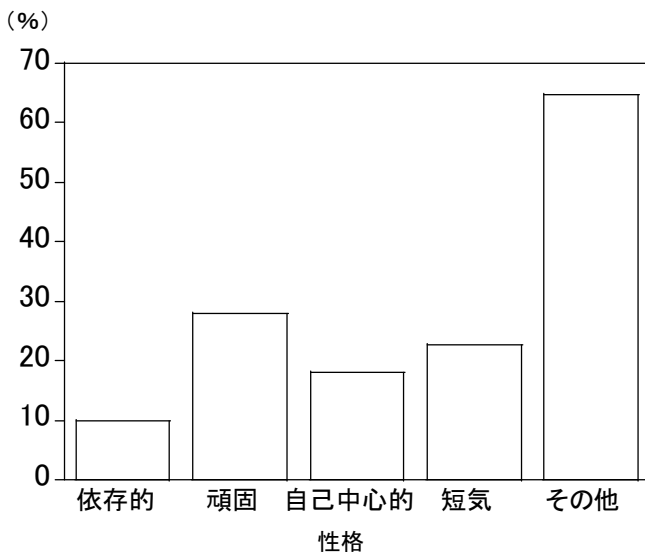
特異な体験の中で、特別な現場を目撃したという体験はまれであった。

表 3-9-3 特異な体験の種類(現場を目撃)

現場を目撃 (特異な体験ありの場合, 複数回答)	n	%
事故	1	0.7
殺人	0	0.0
自死	1	0.7
災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃	0	0.0

3-10 性格

図 3-10 性格



4つの性格の中では、頑固な性格が28%と最も多かった。

表 3-10 性格

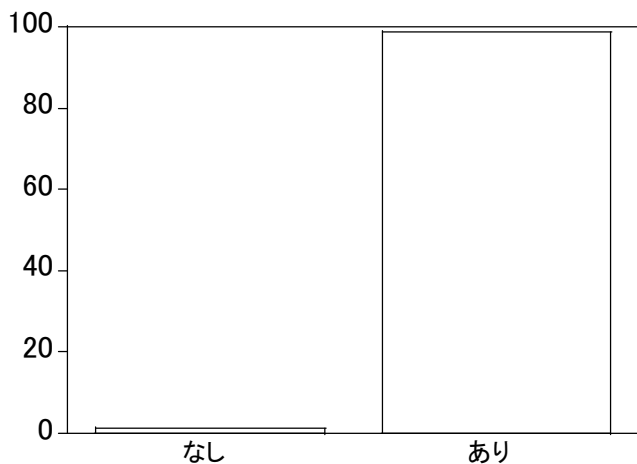
性格 (複数回答)	n	%
依存的	15	10.0
頑固	42	28.0
自己中心的	27	18.0
短気	34	22.7
その他	97	64.7

4 中越地震

4-1 中越地震の体験

図 4-1 中越地震の体験

(%)



ほとんどが中越地震の体験者であった。

中越地震の体験

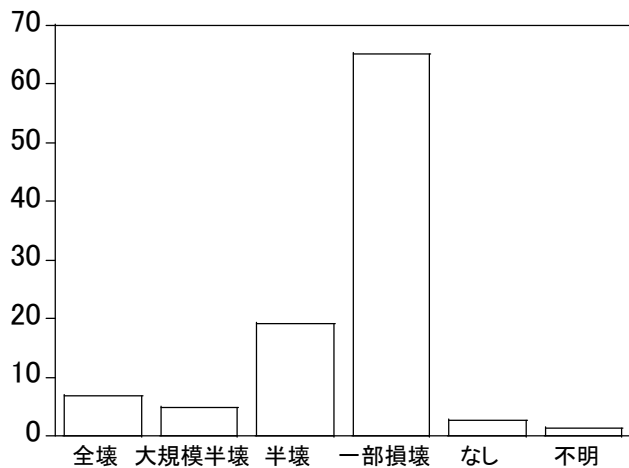
表 4-1 中越地震の体験

中越大震災の体験	n	%
なし	2	1.3
あり	148	98.7
合計	150	100.0

4-2 家屋被害

図 4-2 家屋被害(認定)

(%)



半壊以上を合わせると 30.8%であった。

家屋被害

表 4-2 家屋被害(認定)

家屋被害 (認定)	n	%
全壊	10	6.8
大規模半壊	7	4.8
半壊	28	19.2
一部損壊	95	65.1
なし	4	2.7
不明	2	1.4
合計	146	100.0

欠損値 2

4-3 家屋改修状況

図 4-3 家屋改修状況

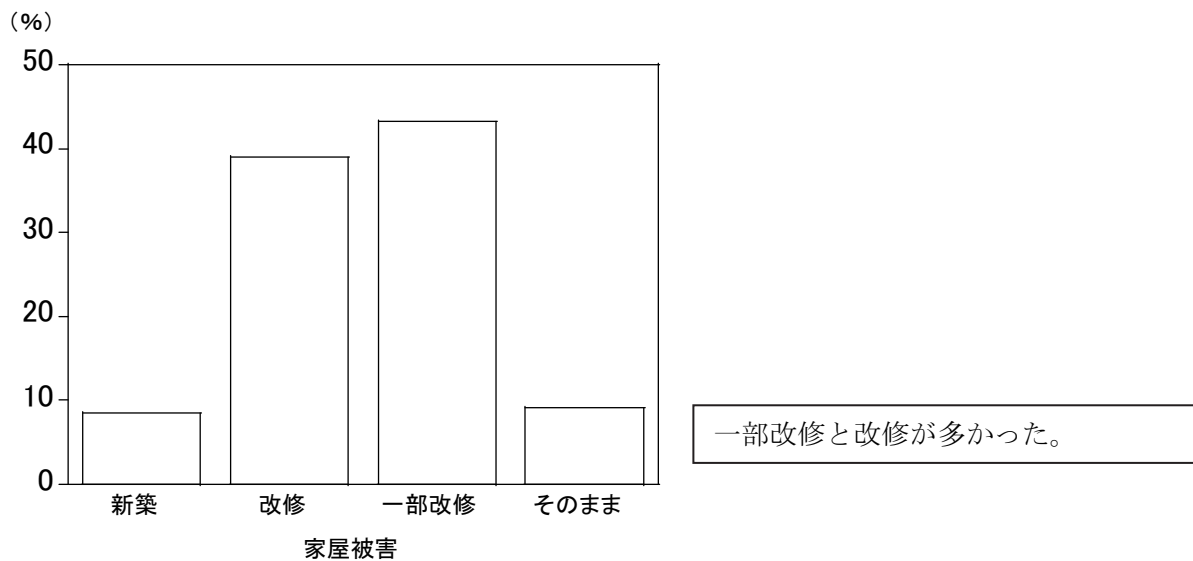


表 4-3 家屋改修状況

家屋改修状況	n	%
新築	12	8.5
改修	55	39.0
一部改修	61	43.3
そのまま	13	9.2
合計	141	100.0

欠損値 7

4-4 現在の住まい

図 4-4 現在の住まい

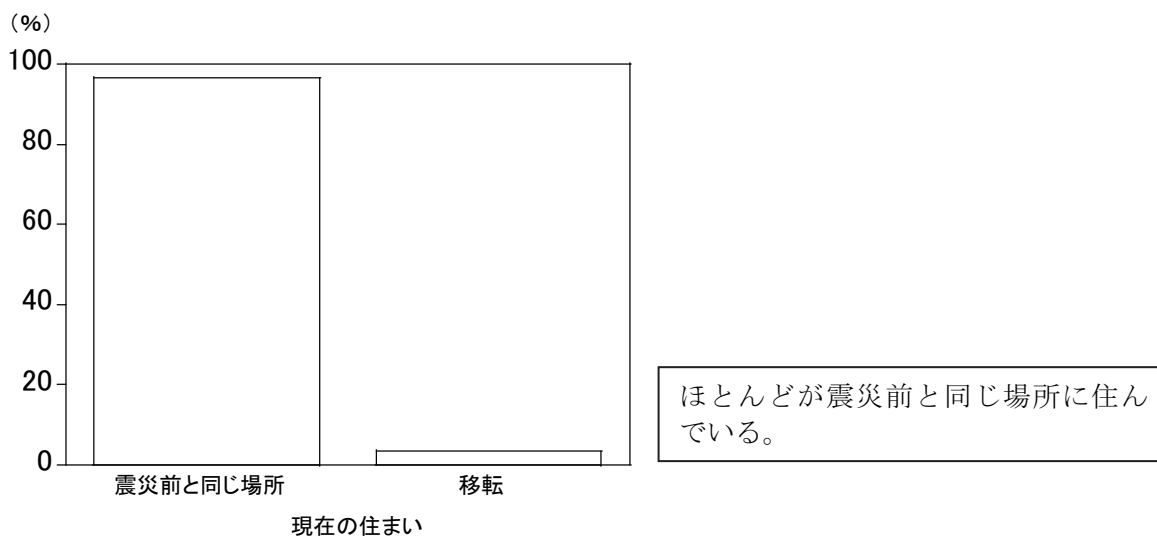


表 4-4 現在の住まい

現在の住まい	n	%
震災前と同じ場所	143	96.6
移転	5	3.4
合計	148	100.0

欠損値 0

4-5 家族構成の変化

図 4-5 家族構成の変化

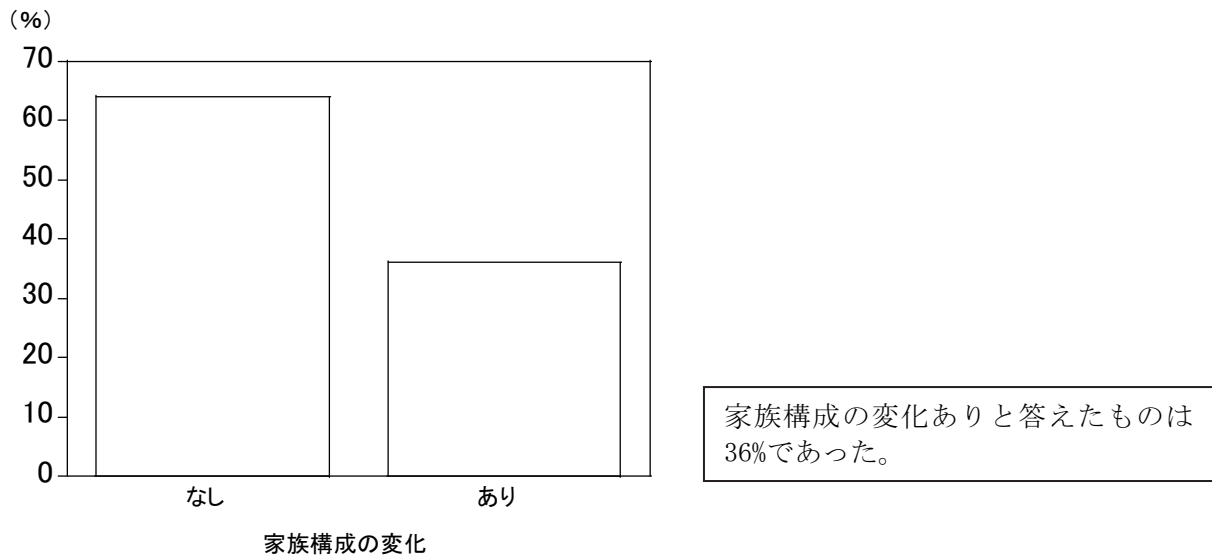


表 4-5 家族構成の変化

家族構成の変化	n	%
なし	94	64.0
あり	53	36.1
合計	147	100.0

欠損値 1

5 クロス集計： 各要因と認知症傾向 (HDS-R \leq 25 点)との関連を見る

5-1 基本属性等

5-1-1 年齢

図 5-1-1 年齢と認知症傾向 (HDS-R \leq 25 点)

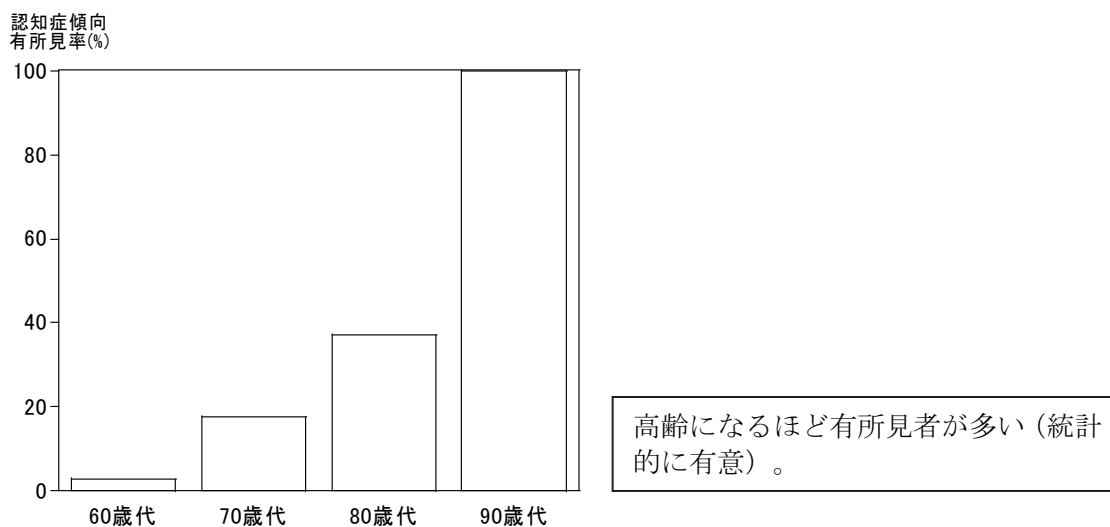


表 5-1-1 年齢

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
HDS-R \geq 26	35	61	22	0
HDS-R \leq 25	1	13	13	1
有所見率 (%)	2.8	17.6	37.1	100.0

P= 0.0002

5-1-2 性別

図 5-1-2 性別と認知症傾向 (HDS-R \leq 25 点)

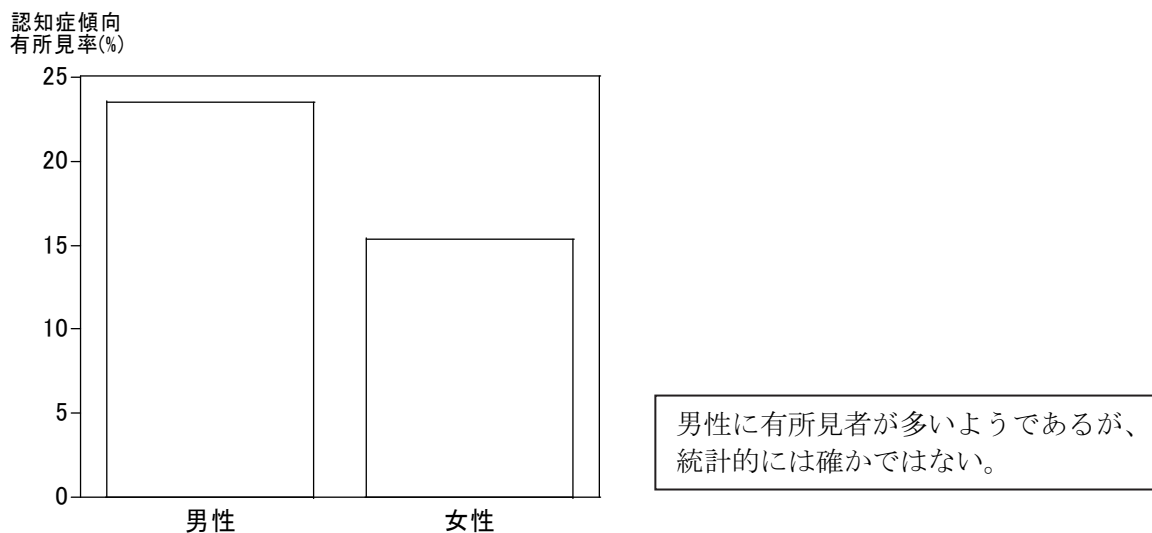


表 5-1-2 性別

	男性	女性
HDS-R \geq 26	52	66
HDS-R \leq 25	16	12
有所見率 (%)	23.5	15.4

年齢調整 P= 0.1282 P= 0.2153

5-1-3 母親が何歳の時の子どもか

表 5-1-3 母親が何歳の時の子どもか(歳)

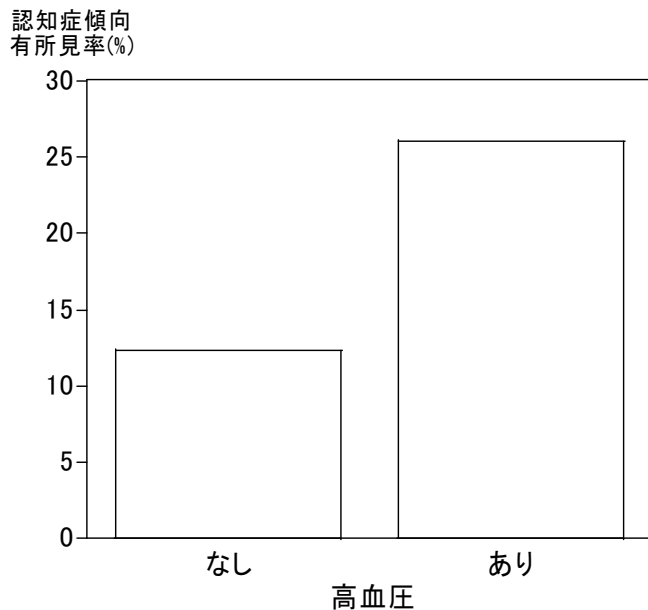
	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代
HDS-R \geq 26	34	39	34	11
HDS-R \leq 25	13	8	4	3
有所見率(%)	27.7	17.0	10.5	21.4
年齢調整 P=	0.9503		0.1551	

母親の出産年齢と認知症傾向に関連は見られない。

5-2 健康状況

5-2-1 高血圧

図 5-2-1 高血圧と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



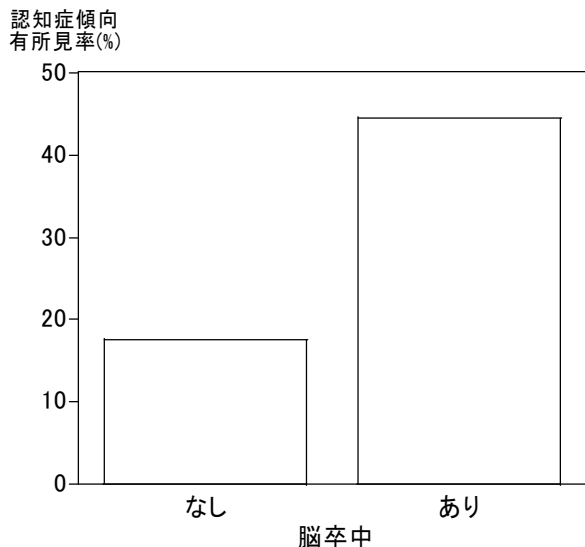
高血圧を持つ者に有所見者が多いようであるが、統計的には確かではない(年齢調整 P 値が 0.1 より大きい)。

表 5-2-1 高血圧病歴

	なし	あり
HDS-R \geq 26	64	54
HDS-R \leq 25	9	19
有所見率(%)	12.3	26.0
年齢調整 P=	0.1431	0.0392

5-2-2 脳卒中

図 5-2-2 脳卒中と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



脳卒中の病歴を持つ者に有所見者が多い傾向にある（年齢調整 P 値が 0.0836）。

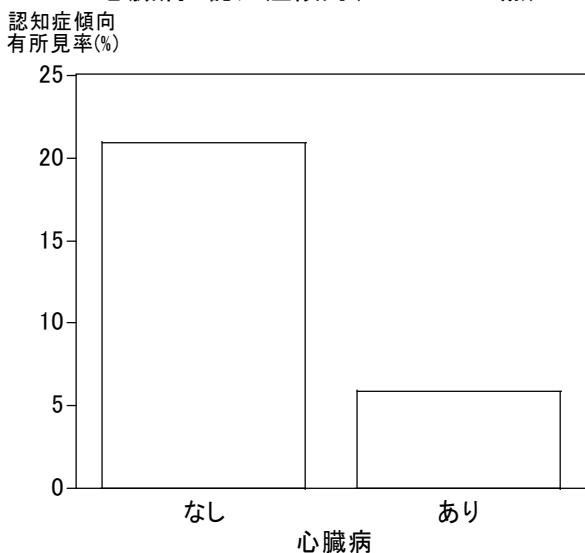
表 5-2-2 脳卒中病歴

	なし	あり
HDS-R≥26	113	5
HDS-R≤25	24	4

有所見率(%) 17.5 44.4
年齢調整 P= 0.0836 P= 0.0609

5-2-3 心臓病

図 5-2-3 心臓病と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



心臓病の病歴を持つ者に有所見者が少ないようであるが、統計的に有意ではない。

表 5-2-3 心臓病

	なし	あり
HDS-R≥26	102	16
HDS-R≤25	27	1

有所見率(%) 20.9 5.9
年齢調整 P= 0.173 P= 0.1705

5-2-4 糖尿病

表 5-2-4 糖尿病

	なし	あり
HDS-R \geq 26	105	13
HDS-R \leq 25	25	3

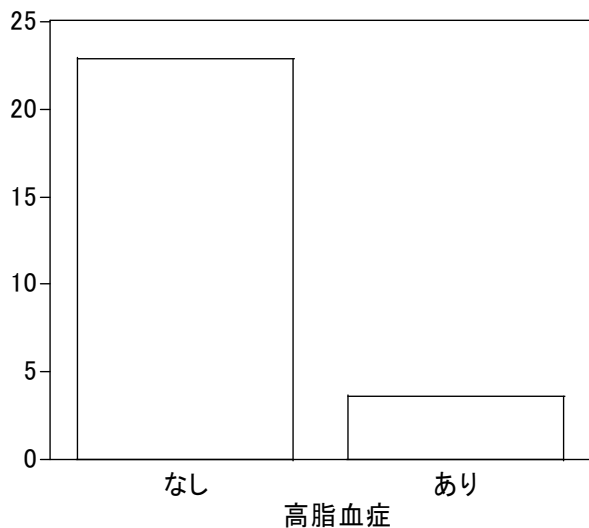
有所見率(%) 19.2 18.8
 年齢調整 P= 0.9914 P= 0.9635

糖尿病と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-5 高脂血症

図 5-2-5 高脂血症と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)

認知症傾向
 有所見率(%)



高脂血症を持つ者に有所見者が少ないようであるが、統計的に有意ではない。

表 5-2-5 高脂血症

	なし	あり
HDS-R \geq 26	91	27
HDS-R \leq 25	27	1

有所見率(%) 22.9 3.6
 年齢調整 P= 0.1111 P= 0.0458

5-2-6 筋・骨格系疾患

表 5-2-6 筋・骨格系疾患

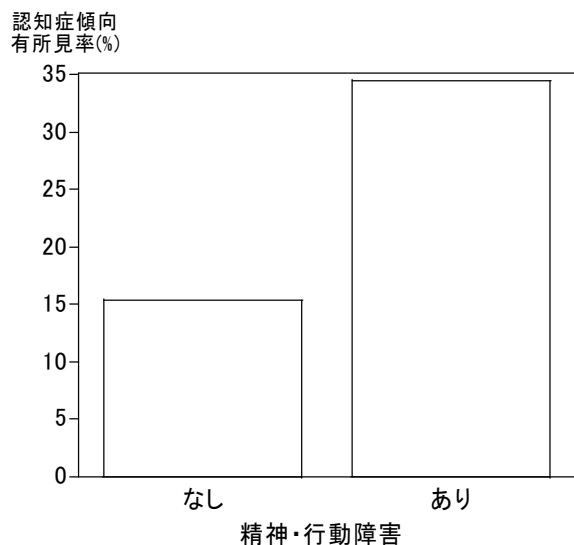
	なし	あり
HDS-R \geq 26	83	35
HDS-R \leq 25	19	9

有所見率(%) 18.6 20.5
 年齢調整 P= 0.7584 P= 0.797

筋・骨格系疾患と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-7 精神・行動障害

図 5-2-7 精神・行動障害と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



精神・行動障害がある者に有所見者が多い（統計的に有意）。

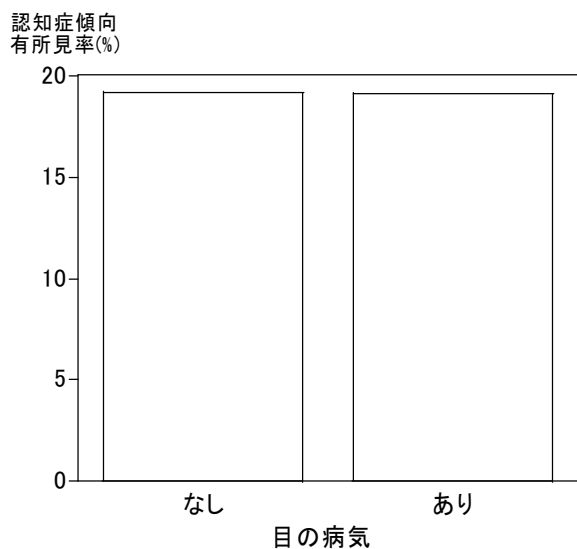
表 5-2-7 精神・行動障害

	なし	あり
HDS-R \geq 26	99	19
HDS-R \leq 25	18	10

有所見率(%) 15.4 34.5
 年齢調整 P= 0.0222 P= 0.0229

5-2-8 目の病気

図 5-2-8 目の病気と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



目の病気と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-2-8 目の病気

	なし	あり
HDS-R \geq 26	80	38
HDS-R \leq 25	19	9

有所見率(%) 19.2 19.1
 年齢調整 P= 0.2545 P= 0.9951

5-2-9 感覚器の病気

表 5-2-9 感覚器の病気(目、耳、鼻)

	なし	あり
HDS-R \geq 26	72	46
HDS-R \leq 25	15	13

有所見率(%) 17.2 22.0
 年齢調整 P= 0.7022 P= 0.4713

感覚器の病気と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-10 家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)

表 5-2-10 家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)

	なし	あり
HDS-R \geq 26	78	40
HDS-R \leq 25	16	12

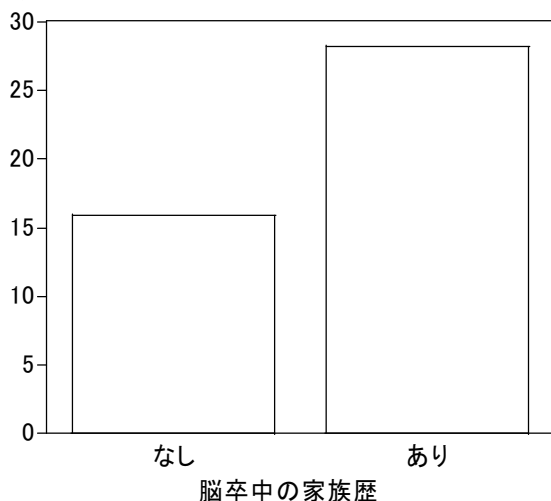
有所見率(%) 17.0 23.1
 年齢調整 P= 0.3424 P= 0.375

家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-11 家族歴(脳卒中)

図 5-2-11 脳卒中中の家族歴と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)

認知症傾向
 有所見率(%)



脳卒中中の家族歴ありの人に有所見者が多い傾向にある。

表 5-2-11 家族歴(脳卒中)

	なし	あり
HDS-R \geq 26	90	28
HDS-R \leq 25	17	11

有所見率(%) 15.9 28.2
 年齢調整 P= 0.0982 P= 0.0986

5-2-12 家族歴(認知症)

表 5-2-12 家族歴(認知症)

	なし	あり
HDS-R \geq 26	106	12
HDS-R \leq 25	25	3

有所見率(%) 19.1 20.0
 年齢調整 P= 0.5509 P= 0.932

認知症の家族歴と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-13 運動機能(階段を手すりや壁をつたわずに上る)

表 5-2-13 階段を手すりや壁をつたわずに上る

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	63	55
HDS-R \leq 25	12	16

有所見率(%) 16.0 22.5
 年齢調整 P= 0.527 P= 0.3181

「階段を手すりや壁をつたわずに上る」能力と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-14 運動機能(椅子に座った状態から立ち上がる)

表 5-2-14 椅子に座った状態から立ち上がる

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	78	40
HDS-R \leq 25	14	14

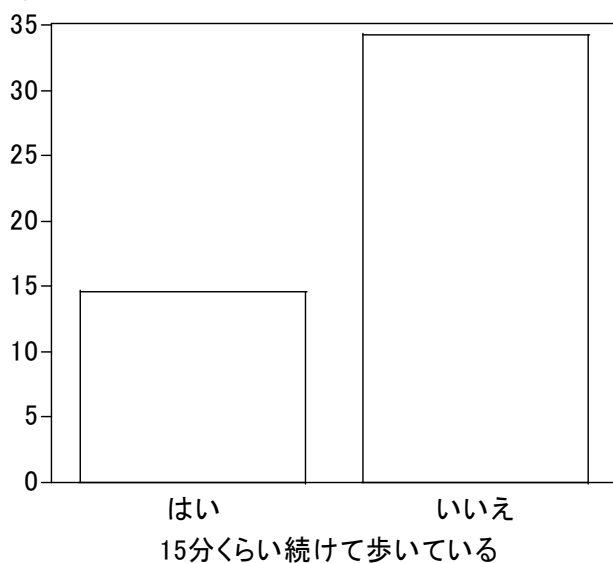
有所見率(%) 15.2 25.9
 年齢調整 P= 0.9332 P= 0.1162

「椅子に座った状態から立ち上がる」能力と認知症傾向に関連は見られない。

5-2-15 運動機能(15分くらい続けて歩いている)

図 5-2-15 15分歩行と認知症傾向(HDS-R \leq 25点)

認知症傾向
 有所見率(%)



15分歩行できない人に有所見者が多く見えるが、年齢調整を行うと、両者の関連性は統計的に有意ではなくなる。

表 5-2-15 15分くらい続けて歩いている

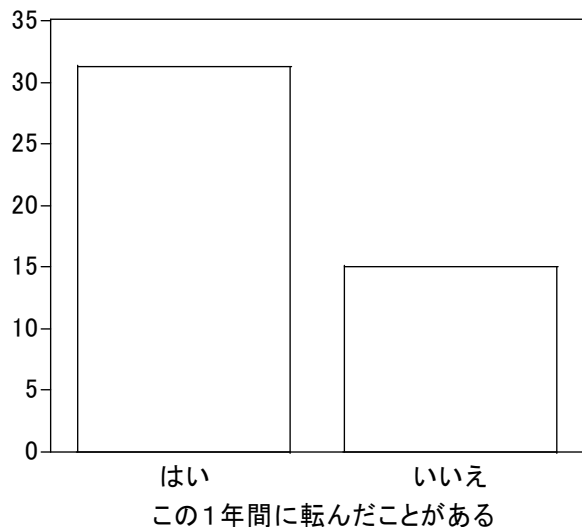
	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	94	23
HDS-R \leq 25	16	12

有所見率(%) 14.5 34.3
 年齢調整 P= 0.264 P= 0.0122

5-2-16 運動機能(この1年間に転んだことがある)

図 5-2-16 転倒と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)

認知症傾向
有所見率(%)



転倒した人に有所見者が多い傾向である。

表 5-2-16 この1年間に転んだことがある

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	22	96
HDS-R \leq 25	10	17

有所見率(%) 31.3 15.0
年齢調整 P= 0.0853 P= 0.0419

5-2-17 運動機能(転倒に対する不安が大きい)

表 5-2-17 転倒に対する不安が大きい

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	36	82
HDS-R \leq 25	11	16

有所見率(%) 23.4 16.3
年齢調整 P= 0.7166 P= 0.3076

「転倒に対する不安」と認知症傾向に関連は見られない。

5-3 生活状況

5-3-1 起床時間

表 5-3-1 起床時間

	4時	5時	6時	7時	8時	9時
HDS-R \geq 26	3	13	50	46	5	1
HDS-R \leq 25	0	6	10	9	1	1

有所見率(%) 0.0 31.6 16.7 16.4 16.7 50.0
年齢調整 P= 0.4454 P= 0.82

起床時間と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-2 朝食時間

表 5-3-2 朝食時間

	6時	7時	8時	9時	10時
HDS-R \geq 26	3	47	56	10	2
HDS-R \leq 25	1	13	10	2	1

有所見率(%) 25.0 21.7 15.2 16.7 33.3
年齢調整 P= 0.2401 P= 0.6336

朝食時間と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-3 昼食時間

表 5-3-3 昼食時間

	11時	12時	13時	14時	15時
HDS-R \geq 26	0	95	20	3	0
HDS-R \leq 25	1	23	3	0	1
有所見率(%)	100.0	19.5	13.0	0.0	100.0
年齢調整 P=	0.8029	P=	0.6992		

昼食時間と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-4 夕食時間

表 5-3-4 夕食時間

	17時	18時	19時	20時	21時
HDS-R \geq 26	4	42	65	7	0
HDS-R \leq 25	3	10	13	1	1
有所見率(%)	42.9	19.2	16.7	12.5	100.0
年齢調整 P=	0.8141	P=	0.4948		

夕食時間と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-5 就寝時間

表 5-3-5 就寝時間

	20時	21時	22時	23時	24時
HDS-R $>$ 25	6	14	39	41	15
HDS-R \leq 25	2	5	8	10	1
有所見率(%)	25.0	26.3	17.0	19.6	6.3
年齢調整 P=	0.7704	P=	0.3591		

就寝時間と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-6 楽しみ(対人交流、その他)

表 5-3-6 楽しみ(対人交流、その他)

	なし	あり	
HDS-R \geq 26	15	103	
HDS-R \leq 25	1	27	
有所見率(%)	6.3	20.8	
年齢調整 P=	0.264	P=	0.1944

楽しみの有無と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-7 楽しみ(対人交流)

表 5-3-7 楽しみ(対人交流)

	なし	あり	
HDS-R \geq 26	36	82	
HDS-R \leq 25	6	22	
有所見率(%)	14.3	21.2	
年齢調整 P=	0.5755	P=	0.343

対人交流の楽しみの有無と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-8 楽しみ(その他のみ)

表 5-3-8 楽しみ(その他のみ)

	なし	あり	
HDS-R \geq 26	97	21	
HDS-R \leq 25	23	5	
有所見率(%)	19.2	19.2	
年齢調整 P=	0.788	P=	0.994

対人交流以外の楽しみの有無と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-9 朝食の主食

表 5-3-9 朝食の主食

	米以外	米
HDS-R \geq 26	36	82
HDS-R \leq 25	7	21

有所見率(%) 16.3 20.4
 年齢調整 P= 0.2466 P= 0.5662

朝食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-10 昼食の主食

表 5-3-10 昼食の主食

	米以外	米
HDS-R \geq 26	27	91
HDS-R \leq 25	3	25

有所見率(%) 10.0 21.6
 年齢調整 P= 0.3165 P= 0.1632

昼食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-11 夕食の主食

表 5-3-11 夕食の主食

	米以外	米
HDS-R \geq 26	9	109
HDS-R \leq 25	0	28

有所見率(%) 0.0 20.4
 年齢調整 P= 0.9687 P= 0.9698

夕食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-12 肉の摂取

表 5-3-12 肉の摂取

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R \geq 26	20	32	50	16
HDS-R \leq 25	2	9	12	5

有所見率(%) 9.1 22.0 19.4 23.8
 年齢調整 P= 0.273 P= 0.3275

肉の摂取と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-13 魚の摂取

表 5-3-13 魚の摂取

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R \geq 26	48	45	24	1
HDS-R \leq 25	11	8	8	1

有所見率(%) 18.6 15.1 25.0 50.0
 年齢調整 P= 0.2065 P= 0.3765

魚の摂取と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-14 卵の摂取

表 5-3-14 卵の摂取

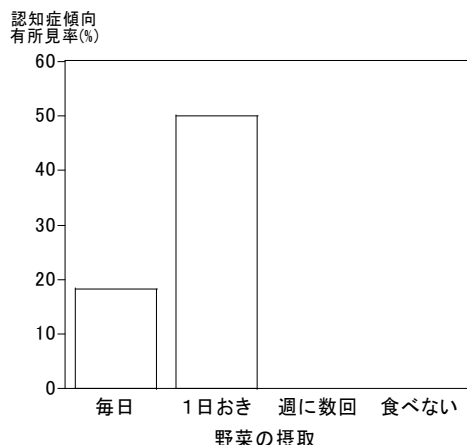
	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R \geq 26	32	32	52	2
HDS-R \leq 25	10	7	9	2

有所見率(%) 23.8 17.9 14.8 50.0
 年齢調整 P= 0.6809 P= 0.6047

卵の摂取と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-15 野菜の摂取

図 5-3-15 野菜の摂取と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



野菜を毎日摂取しない人に有所見者が多かった(統計的に有意)。

表 5-3-15 野菜の摂取

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R≥26	116	2	0	0
HDS-R≤25	26	2	0	0
有所見率(%)	18.3	50.0	0.0	0.0
年齢調整 P=	0.0223	P= 0.1439		

5-3-16 飲酒歴

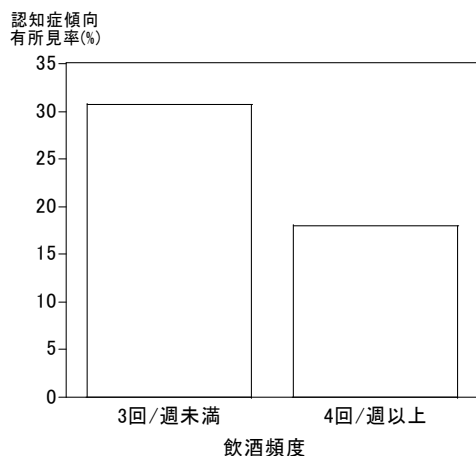
表 5-3-16 飲酒歴

	なし	あり
HDS-R≥26	61	57
HDS-R≤25	14	14
有所見率(%)	18.7	19.7
年齢調整 P=	0.4988	P= 0.8719

飲酒歴の有無と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-17 飲酒頻度

図 5-3-17 飲酒頻度と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



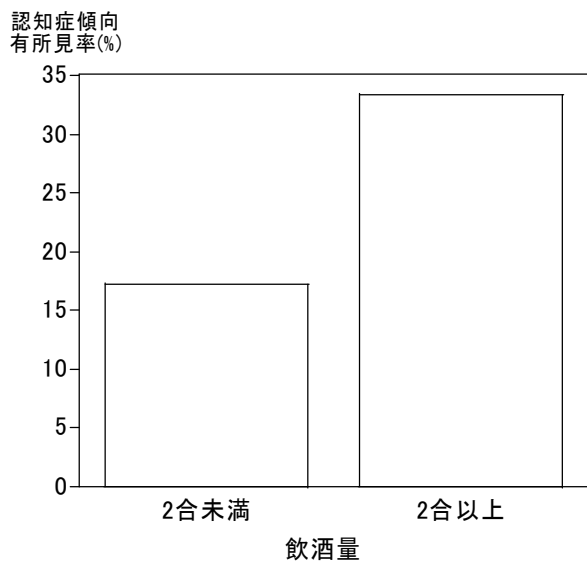
飲酒頻度と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-17 飲酒頻度

	3回/週未満	4回/週以上
HDS-R≥26	9	109
HDS-R≤25	4	24
有所見率(%)	30.8	18.0
年齢調整 P=	0.2167	P= 0.2738

5-3-18 飲酒量

図 5-3-18 飲酒量と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



飲酒量が2合以上の人に有所見者が多い(統計的に有意)。

表 5-3-18 飲酒量

	2合未満	2合以上
HDS-R \geq 26	106	12
HDS-R \leq 25	22	6
有所見率(%)	17.2	33.3
年齢調整 P=	0.0417	P= 0.1113

5-3-19 喫煙歴

表 5-3-19 喫煙歴

	なし	あり
HDS-R \geq 26	81	37
HDS-R \leq 25	18	10
有所見率(%)	18.2	21.3
年齢調整 P=	0.5246	P= 0.6575

喫煙歴の有無と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-20 間食

表 5-3-20 間食

	2回/日未満	3回/日以上
HDS-R \geq 26	108	10
HDS-R \leq 25	23	5
有所見率(%)	17.6	33.3
年齢調整 P=	0.2454	P= 0.1507

間食と認知症傾向に関連は見られない。

5-3-21 口腔機能(半年前に比べて固い物が食べにくい)

表 5-3-21 半年前に比べて固い物が食べにくい

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	22	95
HDS-R \leq 25	7	21
有所見率(%)	24.1	18.1
年齢調整 P=	0.7358	P= 0.4629

固いものの食べにくさと認知症傾向に関連は見られない。

5-3-22 口腔機能(お茶や汁物等でむせることがある)

表 5-3-22 お茶や汁物等でむせることがある

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	14	103
HDS-R \leq 25	3	25

有所見率(%) 17.6 19.5
 年齢調整 P= 0.5987 P= 0.8534

むせることと認知症傾向に関連は見られない。

5-3-23 口腔機能(口の渇きが気になる)

表 5-3-23 口の渇きが気になる

	はい	いいえ
HDS-R \geq 26	20	97
HDS-R \leq 25	6	22

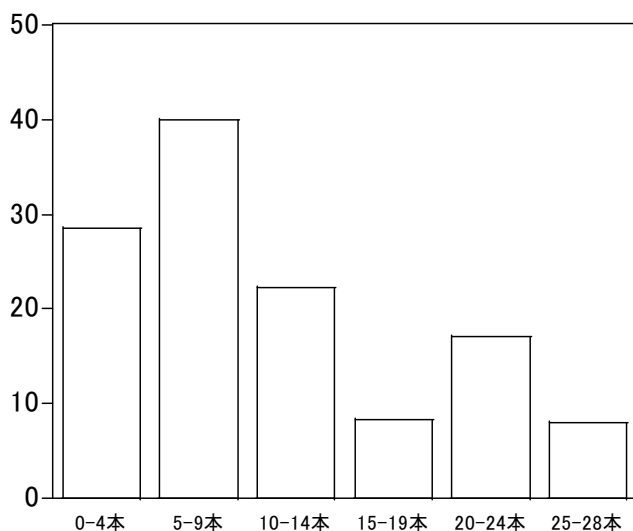
有所見率(%) 23.1 18.5
 年齢調整 P= 0.9384 P= 0.592

口の渇きと認知症傾向に関連は見られない。

5-3-24 口腔機能(残存歯数)

図 5-3-24 残存歯数と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)

認知症傾向
 有所見率(%)



残存歯数

残存歯数が少ないほど有所見者が多いように見えるが、年齢調整して解析すると有意な関連性は消える。残存歯数が少ないのは高齢であったためと考えられる。よって、残存歯数と認知症傾向の関連は不明である。

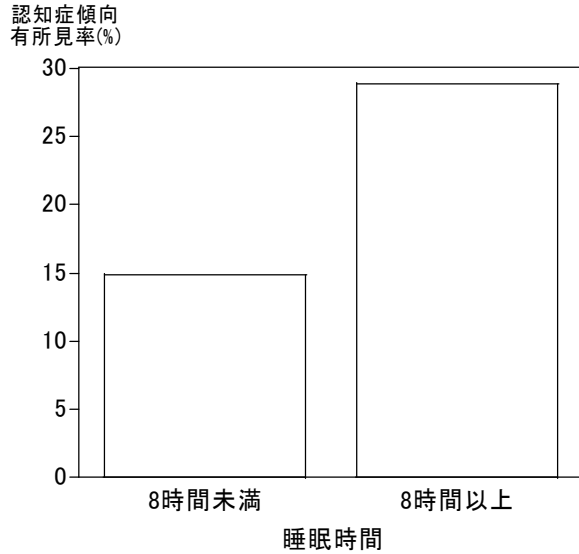
表 5-3-24 残存歯数

	0-4 本	5-9 本	10-14 本	15-19 本	20-24 本	25-28 本
HDS-R \geq 26	20	9	7	11	29	23
HDS-R \leq 25	8	6	2	1	6	2

有所見率(%) 28.6 40.0 22.2 8.3 17.1 8.0
 年齢調整 P= 0.2926 P= 0.0189

5-3-25 睡眠時間

図 5-3-25 睡眠時間と認知症傾向 (HDS-R \leq 25 点)



睡眠時間の長い人に有所見者が多いように見えるが、年齢調整して解析すると有意な関連性は消える。睡眠時間の長い人は高齢であったためと考えられる。よって、睡眠時間と認知症傾向の関連は不明である。

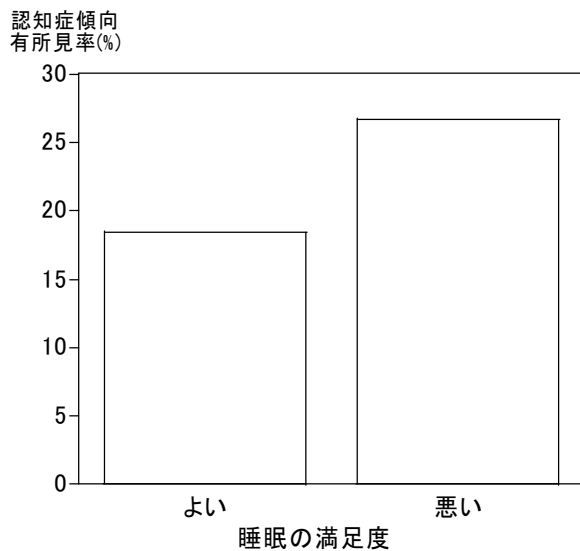
表 5-3-25 睡眠時間

	8 時間未満	8 時間以上
HDS-R \geq 26	86	32
HDS-R \leq 25	15	13

有所見率(%) 14.9 28.9
 年齢調整 P= 0.563 P= 0.0502

5-3-26 睡眠の満足度

図 5-3-26 睡眠時間と認知症傾向 (HDS-R \leq 25 点)



睡眠満足度と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

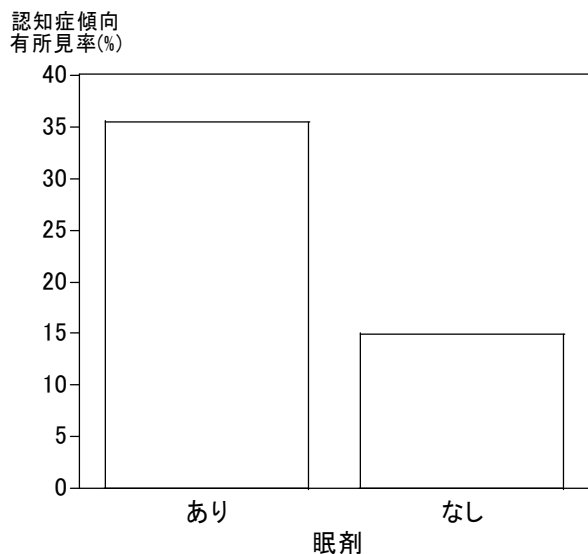
表 5-3-26 睡眠の満足度

	よい	悪い
HDS-R \geq 26	106	11
HDS-R \leq 25	24	4

有所見率(%) 18.5 26.7
 年齢調整 P= 0.2272 P= 0.4492

5-3-27 眠剤の服用

図 5-3-27 睡眠薬の服用と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



眠剤を服用する人に有所見者が多い (統計的に有意)。

表 5-3-27 眠剤の服用

	あり	なし
HDS-R \geq 26	20	97
HDS-R \leq 25	11	17

有所見率(%) 35.5 14.9
 年齢調整 P= 0.0068 P= 0.0126

5-3-28 午睡

表 5-3-28 午睡

	なし	あり
HDS-R \geq 26	64	52
HDS-R \leq 25	14	14

有所見率(%) 17.9 21.2
 年齢調整 P= 0.8536 P= 0.6223

午睡と認知症傾向に統計的に関連は見られない。

5-3-29 心配な事、困っている事

表 5-3-29 心配な事、困っている事

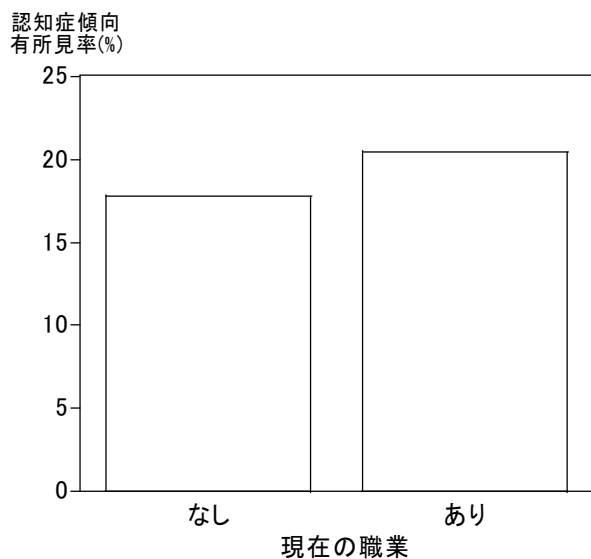
	なし	あり
HDS-R \geq 26	66	52
HDS-R \leq 25	16	12

有所見率(%) 19.5 18.8
 年齢調整 P= 0.7161 P= 0.9076

心配ごとの有無と認知症傾向に統計的に関連は見られない。

5-3-30 現在の職業

図 5-3-30 現在の職業の有無と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



現在職業を持っている人に有所見者が多い傾向にある(統計的に有意ではない)。

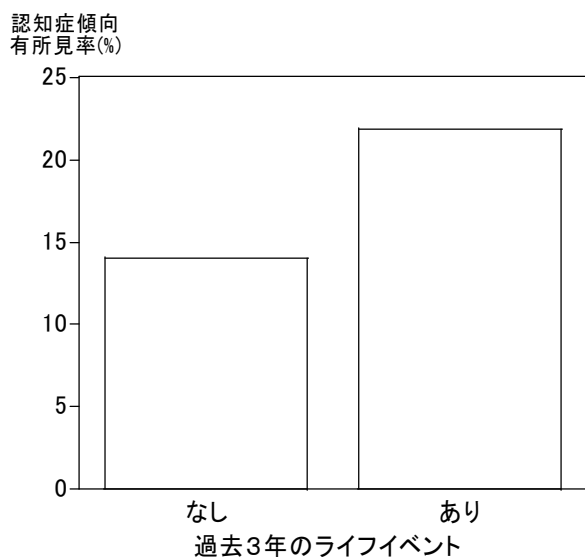
表 5-3-30 現在の職業

	なし	あり
HDS-R \geq 26	83	35
HDS-R \leq 25	18	9

有所見率(%) 17.8 20.5
年齢調整 P= 0.0809 P= 0.7083

5-3-31 過去3年間のイベント

図 5-3-31 ライフイベントの有無と認知症傾向(HDS-R \leq 25 点)



ライフイベントの有無と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

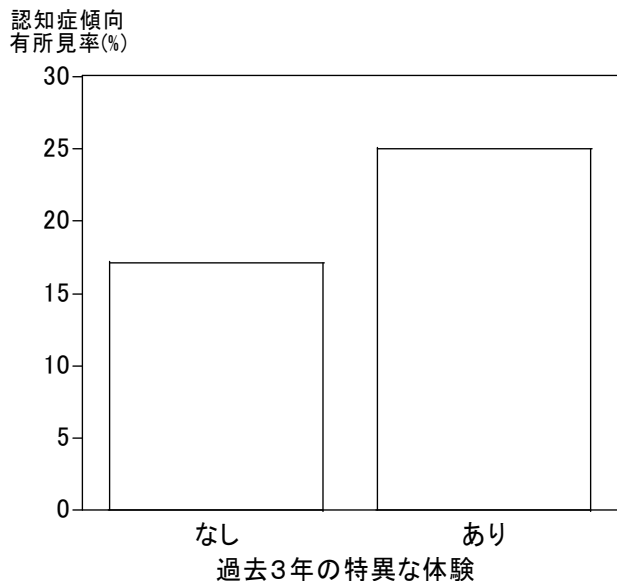
表 5-3-31 過去3年間のイベント

	なし	あり
HDS-R \geq 26	43	75
HDS-R \leq 25	7	21

有所見率(%) 14.0 21.9
年齢調整 P= 0.1327 P= 0.2551

5-3-32 過去3年間の特異な体験

図 5-3-32 特異な体験の有無と認知症傾向 (HDS-R≤25 点)



特異な体験をした人に有所見者が多いように見える（統計的に有意ではない）。

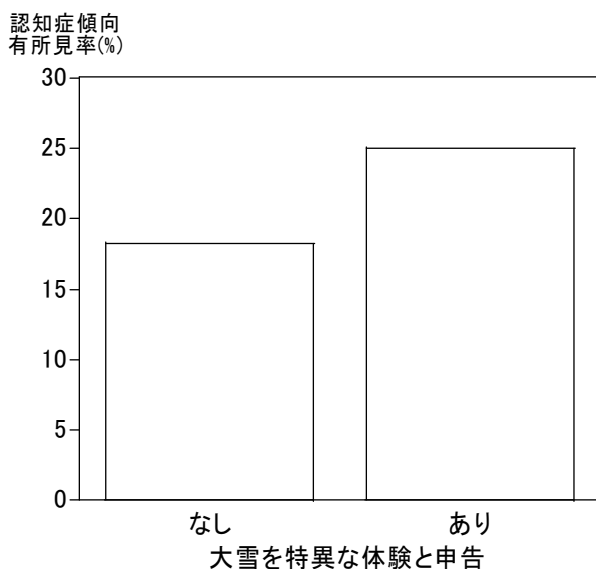
表 5-3-32 過去3年間の特異な体験

	なし	あり
HDS-R≥26	97	21
HDS-R≤25	20	7

有所見率(%) 17.1 25.0
 年齢調整 P= 0.1014 P= 0.3374

5-3-33 大雪を特異な体験と申告

図 5-3-33 大雪の体験の有無と認知症傾向 (HDS-R≤25 点)



「大雪を特異な体験」と申告した人に認知症傾向があるとは言えない。

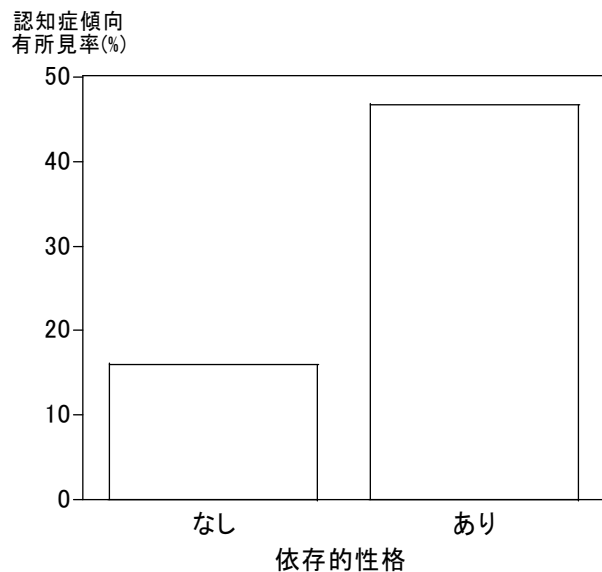
表 5-3-33 大雪を特異な体験と申告

	なし	あり
HDS-R≥26	103	15
HDS-R≤25	23	5

有所見率(%) 18.3 25.0
 年齢調整 P= 0.2606 P= 0.4783

5-3-34 依存的性格

図 5-3-34 依存的性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



頑固な性格と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

表 5-3-34 依存的性格

	なし	あり
HDS-R≥26	110	8
HDS-R≤25	21	7
有所見率(%)	16.0	46.7
年齢調整 P=	0.0011	P= 0.0075

5-3-35 頑固性格

表 5-3-35 頑固性格

	なし	あり
HDS-R≥26	86	32
HDS-R≤25	18	10
有所見率(%)	17.3	23.8
年齢調整 P=	0.3348	P= 0.3681

依存的性格の人に有所見者が多い(統計的に有意)。

5-3-36 自己中心的性格

表 5-3-36 自己中心的性格

	なし	あり
HDS-R≥26	96	22
HDS-R≤25	23	5
有所見率(%)	19.3	18.5
年齢調整 P=	0.783	P= 0.9232

自己中心的な性格と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

5-3-37 短気性格

表 5-3-37 短気性格

	なし	あり
HDS-R≥26	90	28
HDS-R≤25	23	5
有所見率(%)	20.4	15.2
年齢調整 P=	0.6299	P= 0.5061

短気な性格と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

5-4 中越地震

5-4-1 家屋被害

表 5-4-1 家屋被害

	半壊未満	半壊以上
HDS-R \geq 26	79	37
HDS-R \leq 25	18	8

有所見率(%) 18.6 17.8

年齢調整 P= 0.5619

P= 0.9111

家屋被害と認知症傾向に統計的に有意な関連は見られない。

【結果】

クロス集計の結果、以下の陽性所見を得た。

1. 高齢の人ほど認知症傾向の有所見者が多かった。
2. 病歴として、脳卒中を持つ者に認知症傾向の有所見者が多い傾向にあり、精神・行動障害を持つ者に有所見者が多かった。
3. 脳卒中の家族歴ありの人に認知症傾向の有所見者が多い傾向にあった。
4. 運動器の機能に関して、転倒した人に認知症傾向の所見者が多い傾向にあった。
5. 食習慣では、野菜を毎日摂取しない人に認知症傾向の有所見者が多かった。
6. 嗜好品では、飲酒量が2合以上の人に認知症傾向の有所見者が多かった。
7. 眠剤を服用する人に認知症傾向の有所見者が多かった。
8. 現在職業を持っている人に認知症傾向の有所見者が多い傾向にあった。（合理的な説明がつかないため、この結果は偶然の結果かもしれない）
9. 依存的性格の人に認知症傾向の有所見者が多かった。

また、以下の陰性所見を得た。

1. 男性に有所見者が多いようであったが、統計的には確かではなかった。
2. 目や、感覚器の病気を持つ者に認知症傾向の有所見者は多くはなかった。
3. 楽しみと認知症傾向に関連は見られなかった。
4. 喫煙と認知症傾向に関連は見られなかった。
5. 残存歯数と認知症傾向に関連があるように見えたが、統計的には確かではなかった。
6. 睡眠時間の長い人に有所見者が多いように見えたが、統計的には確かではなかった。
7. 「大雪を特異な体験」と申告した人に認知症傾向があるとは言えなかった。

【まとめ】

地域高齢者を対象に行なった本調査は、高い参加率を得て行なわれたものであり、資料としての価値が高い。認知症のリスク要因の一部を解明することで、認知症ハイリスク者のスクリーニングのために有用な情報を得ることができた。今後の課題としては以下の2点が重要と思われる。第一に、本調査は小千谷市市街地のモデル地区で行なわれたものであり、その他の地区（農村部など）において同様な結果が得られるか検証する必要がある。第二に、追跡調査を行うことにより、新規の認知症発症または認知機能低下に関連する要因を明らかにすることである。今回の貴重な調査結果がさらに活かされることを期待する。

おわりに

新潟県中越地震から7年が経過しました。震災による環境の変化や喪失体験(自宅の喪失や転居、友人との別れや家族の死亡等)は、高齢者に大きなストレスを与えました。震災3年後頃から認知症の相談が増加し、震災によるストレスは認知症状の顕在化を促進する要因の1つと予測されました。

そこで小千谷市とこころのケアセンターでは、被災地における高齢者支援の対策と充実を図るため実態調査に取り組みました。

平成22年度は認知症患者と介護者の実態調査を実施し、「小千谷市認知症実態調査結果」の第一報をまとめることができました。その結果、認知症予防の充実が課題の1つに整理されました。

今年度は認知症の早期発見と予防の充実を目的に、高齢者の健康や生活、認知機能やうつ状態の評価、中越地震の被災状況等の実態調査を実施し、第二報としてまとめることができました。

本報告書を作成するにあたり、解析していただいた新潟大学大学院医歯学総合研究科地域予防医学講座 社会・環境医学分野 教授 中村和利 氏に心からお礼申し上げます。

本報告書が被災地における高齢者支援に活用していただければ幸いです。

関係者の皆様におかれましては、今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

平成24年2月

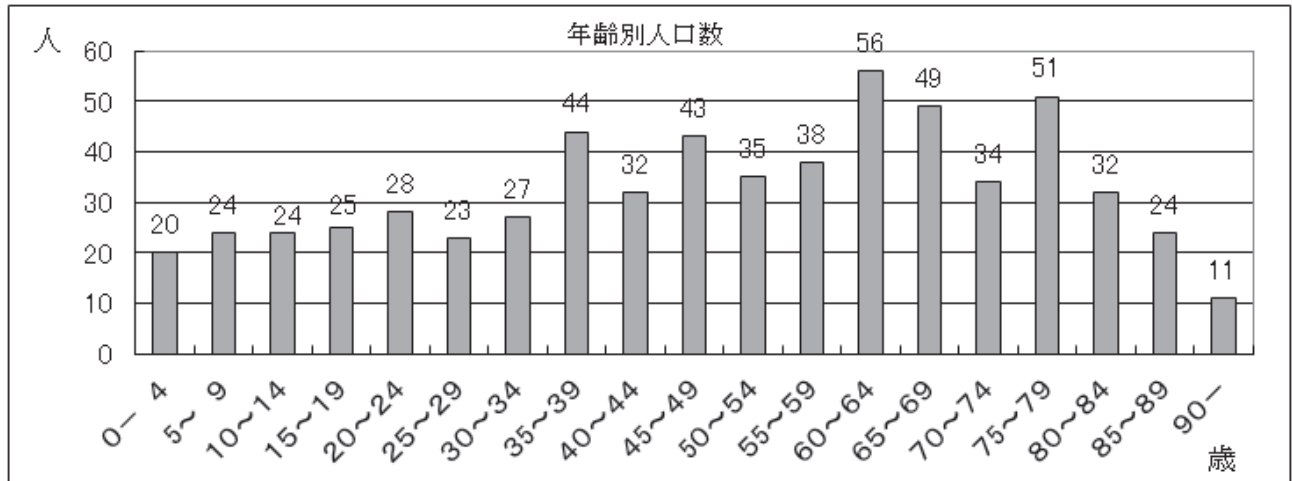
新潟県小千谷市保健福祉課
新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

資 料

資料1

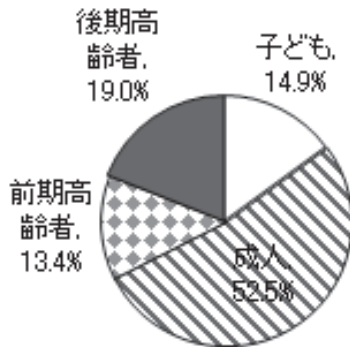
平成町は、隣接町内にスーパー、医療機関、金融機関、公共施設等があり物理的環境が良好な地域である。

平成町の高齢化等の現状



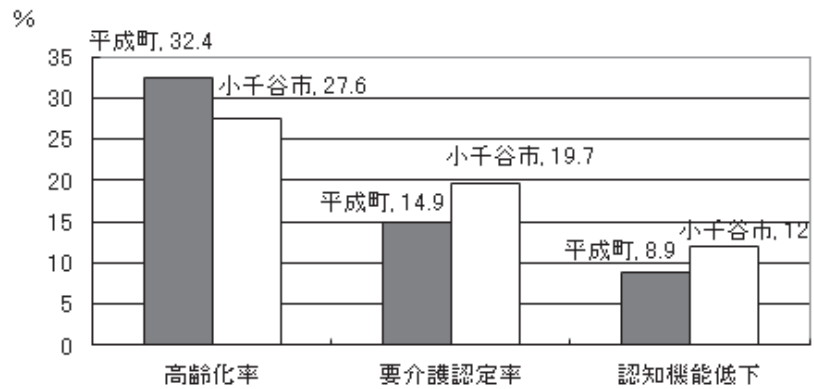
人口は621人、193世帯である。独居高齢者16人、高齢者世帯は26世帯である。年代別では、60歳代が最も多く、70歳代、40歳代、50歳代、30歳代と続いている。

年代別割合



成人が約半数、高齢者が約3割。
 子ども: 14歳以下 成人: 15~64歳
 前期高齢者: 65~74歳
 後期高齢者: 75歳以上

介護認定から見た状況



高齢化率は全市より高いが、介護認定率は低い。
 認知機能低下は、介護認定調査結果、認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上を高齢者人口における割合で示した。全市より低い。

●平成町の社会資源（徘徊模擬訓練企画会議における地域の方の意見）

数	場					機会			
	商店	理容・美容室	歯科医院	お寺	幼稚園	いきいきサロン	デイホーム	老人会	敬老会
	30	4	2	4	2	1	1	2	1
	・PTAや子供会と草取りしたり行事を一緒にやっている 町内行事を通して元気な高齢者が多い ・高齢者世帯や独居高齢者は町内でも巡回する ・月1回はいきいきサロンに会場まで歩いてもらうようにしている ・郵便物がたまっていないか独居は気をつけてみている ・認知症の予防対策をやってほしい ・昔からのお得意さんが商店の特徴。認知症になってくるとお金を払った、払わない、おつりをもらっていない、集金に行くと買ってない等対応に苦慮する事がある ・徘徊が始まる前は、家でぼーとしている期間があるように思う								

No.

介護予防健康調査票 (認知症実態調査)

調査年月日 平成 23 年 月 日

調査員氏名

I. 基本属性

(1) 氏名 性別 男・女

(2) 生年月日 年 月 日 (歳) (3) 住所 小千谷市平成

(4) 婚姻状況 1. 既婚 2. 離婚 3. 死別 4. 未婚 5. その他 ()

(5) 教育年数 年 最終学歴 ()

(6) 家族構成

1. 独居 2. 家族など同居 3. その他

本人を含めて何人家族(人)

1. 配偶者	2. 息子・娘	3. 息子・娘の配偶者	4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> { 家族関係 } </div>					

(7) 生まれ育った所

1. 小千谷市 2. 小千谷市以外()

(8) 兄弟姉妹

1. 兄(人) 2. 姉(人) 3. 弟(人) 4. 妹(人)

(9) 母親が何歳の時の子どもか (歳)

(10) 経済状況

(10)-1. 年金の種類 1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金なし) 3. 厚生年金(企業年金あり)

4. 共済年金 5. 老齢福祉年金のみ 6. その他()

(10)-2. 家計の主な収入 (複数可)

1. サラリー 2. 年金 3. 農業収入 4. 自営業 5. その他()

II.健康状況

(1)既往歴

1. 高血圧(歳) 2. 脳卒中(歳) 3. 心臓病(歳) 4. 糖尿病(歳)
5. 高脂血症(歳) 6. 肥満(歳)
7. 胃・腸病(歳) 8. がん()(歳) 9. 甲状腺の病気(歳)
10. 筋、骨格系(骨粗鬆症、関節症等)(歳) 11. 脳神経系(歳)
12. 精神・行動障害(不眠、うつ病等)(歳) 13. 認知症(歳)
14. 頭部外傷(歳) 15. 頭部以外の外傷(歳)
16. 目の病気(歳) 17. 耳の病気(歳) 18. 鼻の病気(歳)
19. 皮膚の病気(歳) 20. 味覚障害(歳) 21. その他()
22. 覚えていない

(2)現病歴

1. 高血圧(歳) 2. 脳卒中(歳) 3. 心臓病(歳) 4. 糖尿病(歳)
5. 高脂血症(歳) 6. 肥満(歳)
7. 胃・腸病(歳) 8. がん()(歳) 9. 甲状腺の病気(歳)
10. 筋、骨格系(骨粗鬆症、関節症等)(歳) 11. 脳神経系(歳)
12. 精神・行動障害(不眠、うつ病等)(歳) 13. 認知症(歳)
14. 頭部外傷(歳) 15. 頭部以外の外傷(歳)
16. 目の病気(歳) 17. 耳の病気(歳) 18. 鼻の病気(歳)
19. 皮膚の病気(歳) 20. 味覚障害(歳) 21. その他()

医療機関_____

(3)家族歴

- 1.脳卒中 2.パーキンソン病 3.認知症 4.うつ病 5.ダウン症 5.その他の脳神経疾患

(4)運動器の機能

1. 階段を手すりや壁をつたわずに上る 1 はい 2 いいえ
2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる 1 はい 2 いいえ

3. 15 分くらい続けて歩いている 1 はい 2 いいえ
 4. この1年間に転んだ事がある 1 はい 2 いいえ
 5. 転倒に対する不安が大きい 1 はい 2 いいえ

{ 特記事項 }

(5) 認知機能 (別紙 HDS-Rの実施)

1. 点数(点)

(6)うつ状態 (別紙 大うつ病エピソード実施)

(6)-1 大うつエピソード現在

1. いいえ 2. はい

(6)-2 大うつエピソード過去

1. いいえ 2. はい

Ⅲ. 生活状況

(1) 1日の過ごし方(ここ1週間の暮らし方)

(1)-1 日課

起床 (時 分)
 朝食 (時 分)
 昼食 (時 分)
 夕食 (時 分)
 就寝 (時 分)

左記以外の日課

(1)-2 余暇

ア) 役割

1. 無 2. 有(内容)

イ) 趣味(楽しみ)

1. 無 2. 有

① 対人交流(内容)

② その他 (内容)

(2)食生活

(2)-1 1日の食事の回数

1. 3回 2. 2回 3. 1回 4. 4回以上

(2)-2 主食

- ア) 朝食 1. 米 2. パン 3. 麺 4. 無し
 イ) 昼食 1. 米 2. パン 3. 麺 4. 無し
 ウ) 夕食 1. 米 2. パン 3. 麺 4. 無し

(2)-3 食品摂取傾向

- ア) 肉 1. 毎日 2. 1日おき 3. 週に数回 4. 食べない
 イ) 魚 1. 毎日 2. 1日おき 3. 週に数回 4. 食べない
 ウ) 卵 1. 毎日 2. 1日おき 3. 週に数回 4. 食べない
 エ) 野菜 1. 毎日 2. 1日おき 3. 週に数回 4. 食べない

(3)嗜好品

(3)-1 飲酒歴 1. なし 2. あり 3. 不明

・飲酒年数

年

・頻度

1. 毎日(朝・昼・晩) 2. 週4～5回 3. 週2～3回
 4. 週1回程度 5. 週1回未満

・飲酒量(日本酒換算)

- ①. 1合未満 ②. 1合～2合未満 ③. 2合～3合未満
 ④. 3合～4合未満 ⑤. 4合～5合未満 ⑥. 5合～6合未満
 ⑦. 6合～7合未満 ⑧. 7合～8合未満 ⑨. 8合～9合未満
 ⑩. 9合～10合未満 ⑪. 10合以上

(3)-2 喫煙歴

1. なし 2. あり

1日の本数

本

② 喫煙年数

年

③ やめた (

前)

(3)-3 間食

1. 1日3回以上 2. 1日1～2回 3. 時々 4. 食べない

(内容:健康食品やドリンクも含む)

(4) 口腔機能

1. 半年前に比べて固い物が食べにくい 1. はい 2. いいえ
 2. お茶や汁物等でむせることがある 1. はい 2. いいえ
 3. 口の渇きが気になる 1. はい 2. いいえ
 4. 残存歯数 (本)

(5) 睡眠

(5)-1 睡眠時間 (時 分～ 時 分)

1. 10時間以上 2. 9時間～10時間未満 3. 8時間～9時間未満
 4. 7時間～8時間未満 5. 6時間～7時間未満 6. 5時間～6時間未満
 7. 4時間～5時間未満 8. 3時間～4時間未満 9. 3時間未満

(5)-2 睡眠の満足度

1. 良い 2. 悪い

①早朝覚醒 ②中途覚醒 ③入眠障害

(5)-3 眠剤の服用 1. あり 2. なし

(5)-4 午睡の時間 (時 分～ 時 分)

1. 1時間以上 2. 1時間未満～30分 3. 30分未満 4. 無

(6) 心配な事、困っている事

1. 無 2. 有(内容)

(7) 職業

(7)-1 現在の職業

1. なし

2. あり

- ①農業 ②養鯉業 ③サービス業 ④公務員 ⑤製造業
 ⑥技術職 ⑦教員 ⑧その他()

〔 仕事の内容 〕

(7)-2 1番勤務年数の長い職業

- ①農業 ②養鯉業 ③サービス業 ④公務員 ⑤製造業
 ⑥技術職 ⑦教員 ⑧その他()

〔 仕事の内容 〕

(7)-3 現在無職の場合のみ最後の職業

- ①農業 ②養鯉業 ③サービス業 ④公務員 ⑤製造業
 ⑥技術職 ⑦教員 ⑧その他()

〔 仕事の内容 〕

(8) 過去3年間のイベント 1. なし 2. あり 3. 不明

- ①病気 ②入院 ③親しい人の死 ④転居 ⑤新築 ⑥退職
 ⑦役割の喪失(家庭内・町内会・老人会など) ⑧その他()

(9) 過去3年間の特異な体験 1. なし 2. あり 3. 不明



①自分が体験： ・震災・事故・洪水 ・大雪 ・土砂崩れ・津波・噴火

②現場を目撃： ・事故 ・殺人 ・自死 ・災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃

(10) 性格

1. 依存的 2. 頑固 3. 自己中心的 4. 短気 5. その他()

IV. 中越地震

(1). 中越大震災の体験 1. なし 2. あり



①家屋被害(認定) : 1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. なし 6. 不明

②家屋改修状況 : 1. 新築 2. 改修 3. 一部改修 4. そのまま

③現在の住まい : 1. 震災前と同じ場所 2. 移転(自宅・アパート・マンション・復興住宅・その他)

④家族構成の変化 : 1. なし 2. あり()

その他の特記事項 (訪問時の印象に残った事や感想)

改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

1	お歳はおいくつですか？ (2年までの誤差は正解)		0 1
2	今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？ (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0 1
		月	0 1
		日	0 1
		曜日	0 1
3	私たちが今いるところはどこですか？ (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ の中から正しい選択をすれば1点)		0 1 2
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。後でまた聞きますので よく覚えていてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a)桜 b)猫 c)電車 2: a)梅 b)犬 c)自動車		0 1
			0 1
			0 1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は？ それからまた7を 引くと？ と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93)	0 1
		(86)	0 1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2、3-5-2-9 を逆に言ってもらう。3桁逆唱に失敗したら、打ち切る)	2-8-6	0 1
		9-2-5-3	0 1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう1度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下の ヒントを与え正解であれば1点) a)植物 b)動物 c)乗り物	a	0 1 2
		b	0 1 2
		c	0 1 2
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか 言ってください。 (時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)		0 1 2
			3 4 5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。(答えた野菜の 名前を下欄に記入する。途中でつまり、約10秒間待ってもでない場合には そこで打ち切る) 0~5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点		0 1 2
			3 4 5
			合計得点

大うつ病エピソード

(→では、診断ボックスまで進み、すべての診断ボックスの「いいえ」に○をつけ、次のモジュールに進む)

A 1	この2週間以上、毎日のように、ほとんど1日中ずっと憂うつであったり沈んだ気持ちでいましたか？	いいえ	はい	1
A 2	この2週間以上、ほとんどのことに興味がなくなっていたり、大抵いつもなら楽しめていたことが楽しめなくなっていましたか？	いいえ	はい	2
→				
	<u>A 1, またはA 2のどちらかが「はい」である</u>	いいえ	はい	

- A 3 この2週間以上、憂うつであったり、ほとんどのことに興味がなくなった場合、あなたは：
- a 毎日のように、食欲が低下、または増加していましたか？または、自分では意識しないうちに、体重が減少、または増加しましたか？（例：1ヶ月間に体重の±5%、つまり70kgの人の場合、±3, 5kgの増減）？
食欲の変化か、体重の変化のどちらかがある場合、「はい」に○をつける。
 - b 毎晩のように、睡眠に問題（たとえば、寝つきが悪い、真夜中に目が覚める、朝早く目覚める、寝過ぎてしまうなど）がありましたか？
 - c 毎日のように、普段に比べて話し方や動作が鈍くなったり、またはいらいらしたり、落ち着きがなくなったり、静かに座ってられなくなりましたか？
 - d 毎日のように、疲れを感じたり、または気力がないと感じましたか？
 - e 毎日のように、自分に価値はないと感じたり、または罪の意識を感じたりしましたか？
 - f 毎日のように、集中したり決断することが難しいと感じましたか？
 - g 自分を傷つけたり自殺することや、死んでいればよかったと繰り返し考えますか？

A 1～A 3の回答に、少なくともA 1とA 2のどちらかを含んで5つ以上「はい」がある？

いいえ はい
大うつ病エピソード
現在

患者が大うつ病エピソード現在の診断基準を満たす場合A 4に進む

→

- A 4 a 現在、憂うつなようですが、今までの人生で、現在の憂うつな期間とは別に、憂うつであったり、ほとんどのことに興味を失っていたり、先ほどまで話してきたような憂うつに関連した問題の多くを認めた2週間以上の期間がありましたか？
- b 現在の憂うつな期間と、その前の憂うつな期間の間に、少なくとも2ヶ月間、憂うつな気分も興味の喪失も認めない期間がありましたか？

いいえ はい
大うつ病エピソード
過去

新潟県小千谷市認知症実態調査
(第 二 報)

平成 2 4 年 2 月

発行者 新潟県小千谷市

〒947-8501 小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号 電話 0258-83-3511

新潟県精神保健福祉協会 こころのケアセンター

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-3 電話 025-280-0270

ユニゾンプラザハート館